OWNER'S MANUAL

DVD レシーバー

# PLS-1510

この度はウエストボロウシリーズ DVDレシーバー PLS-1510をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。併せて箱や梱包材も、後日修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめいたします。

## PLS-1510 取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

# もくじ



## 必ずお読みください



## 準　備



## 基本操作



## 設　定

**ラジオ放送を楽しむために**



**DVDを楽しむために**



## 応用操作

**CD/MP3をより便利に楽しむ**



**ラジオをより便利に楽しむ**



**DVDをより便利に楽しむ**



## 便利な機能



## リモコン



## その他

## ●付属品　次の付属品がそろっていることをご確認ください。

□ ビデオケーブル　1本

□ TVメーカーシール 1枚

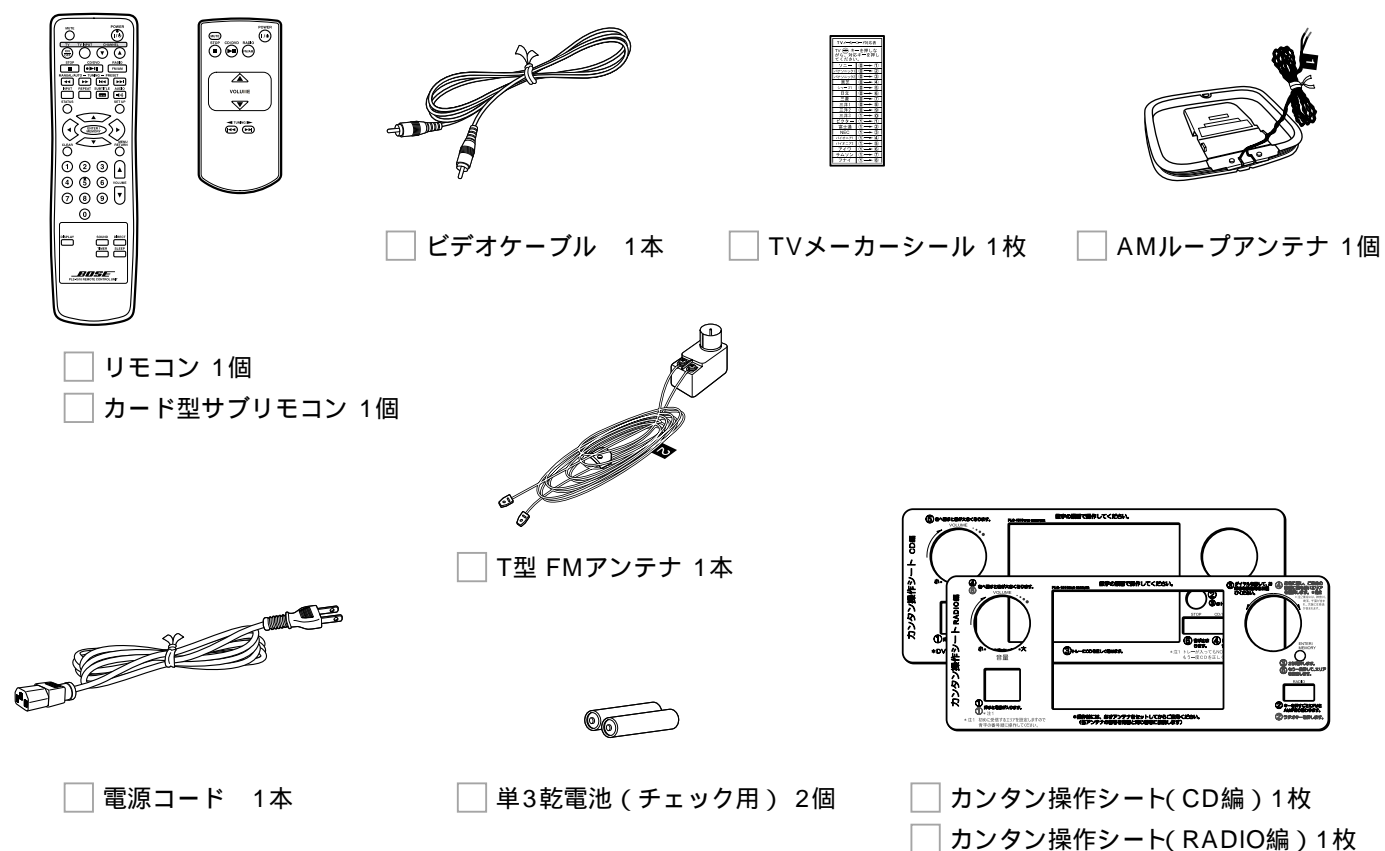
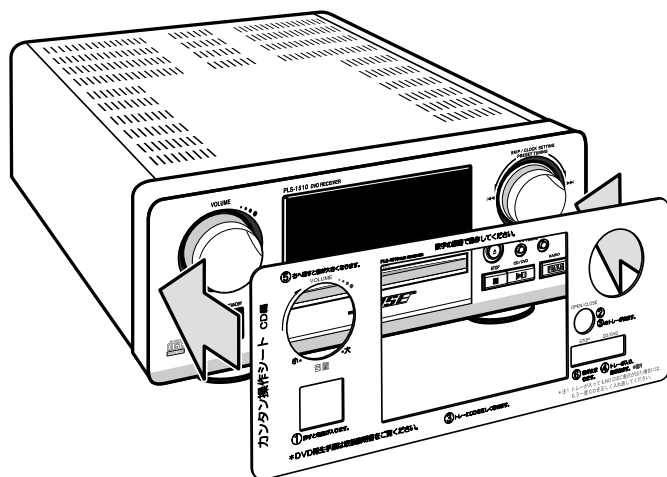
□ AMループアンテナ 1個

□ リモコン 1個
□ カード型サブリモコン 1個

□ T型 FMアンテナ 1本

□ 電源コード　1本

□ 単3乾電池（チェック用） 2個

□ カンタン操作シート（CD編） 1枚
□ カンタン操作シート（RADIO編） 1枚

## ●カンタン操作シートの使い方

本取扱説明書にしたがって、すべての結線を終えた後、図のようにカンタン操作シートをPLS-1510の前面にはめ込みます。
表示の数字の順番に操作することによって、CDプレーヤー、ラジオの操作ができます。

## ●こんなことができます

### ■ボーズスピーカー125をベストドライブ

・小型大口径サウンドスピーカー125の持ち味をパーフェクトに引き出すための専用イコライザーを搭載。

### ■FM/AMラジオ

・エリアファインメモリーで簡単に地域の放送局をチャンネルメモリーに登録可能。
・FM/AMそれぞれ15局の放送局を登録可能。
・周波数を自動で合わせるスキャンチューニングを装備。

### ■DVDビデオ、音楽CD、自分で録音したCD-R/RW、MP3ファイルに対応

**CDプレーヤーでは**
・ダイレクト選曲、スキップ選曲、リピート（繰り返し、1曲/全曲）再生など、便利で使いやすい機能を搭載。

**DVDプレーヤーでは**
・マルチアングル再生（対応ディスクのみ）、チャプターリピート機能、タイトルリピート機能を装備。

### ■MP3のファイル再生機能

・フォルダーに対応。階層付けされていたり、フォルダーごとに収録されているファイルの再生が可能。

### ■別売のMDA-15と組み合わせて

・CD SYNC（CDシンクロ）機能が、別売のMDA-15と組み合わせて使用することで可能。

### ■目覚まし時計と同じ使い勝手のタイマー機能

・タイマーのON/OFFがリモコンでワンタッチ。まさに目覚まし時計と同様の使い勝手を実現。
・CDの再生が終わると自動的にスタンバイ状態になるオートスリープ機能。
・指定時間後（10分単位で10〜90分）に自動的に電源がスタンバイ状態になるスリープタイマー機能。

### ■テレビの電源や入力切換もできる付属リモコン

・本機の操作だけでなく、主なメーカーのテレビの電源ON/OFFと入力切換操作も可能。

### ■基本操作だけを集約したカード型サブリモコン

・電源のON/OFFや音量、入力切換などの基本的な操作が簡単に行えるリモコンも付属。

## ●再生できるディスクについて

**地域番号を確認してください**

DVDプレーヤーとDVDディスクの地域番号（リージョンコード）が合っていなければ使用できません。地域番号はそれらの機器、DVDディスクが使用される国または地域ごとに割り当てられています。本機の場合はメディアセンターの底面にリージョンコードが記載されています。DVDディスクはジャケットやケースなどに記載されています。日本で視聴できるディスクには次のような記号があります。また、業務用ディスクの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。

2　1 2 4　ALL　など

| 地域番号 | おおよその該当地域 |
|---|---|
| 1 | アメリカ、カナダ |
| 2 | 日本、ヨーロッパ(東欧の一部を含む)、中近東 |
| 3 | 東アジア、東南アジア |
| 4 | オーストラリア、ニュージーランド、中南米 |
| 5 | 東欧、アフリカ(南アフリカ共和国、エジプトを除く)、インド |
| 6 | 中国(香港を除く) |
| ALL | 全地域 |

PLS-1510のDVDプレーヤーは、以下のタイプのディスクを再生できます。

| 名称 | ロゴマーク |
|---|---|
| DVD ビデオ | DVD VIDEO |
| 音楽CD | COMPACT disc DIGITAL AUDIO |
| CD-R または CD-RW | マークなし |
| MP3CD | マークなし |

**※DVDのビデオの中には、ソフトの制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。ディスクのジャケットなどもご覧ください。**

# 安全上の留意項目

## ●ご使用の前に、この「安全上の留意項目」を よくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示について

**警告**　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

## 警告

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。

使用禁止

●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

## 警告

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

・この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
・この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。
・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

**ACアウトレット（電源コンセント）付き機器のみ**

●この機器のACアウトレットが供給できる電力は背面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

●この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、左右5cmずつ、奥行き5cm、天面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。

# 安全上の留意項目

##  警告

●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。

●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。

●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。

●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

●この製品は、一般屋内用器具です。落下、脱落、焼損、火傷、火災、感電、腐食、変形などの原因となりますので、以下の場所ではご使用にならないでください。

・振動や衝撃の影響を受けるところ
・腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるところ
・サウナ風呂などの温度が高くなるところ
・湿度の高いところ

●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品やクレンザーなどは、変色や傷を付ける原因となりますので使用しないでください。

##  注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

**電池を使用する機器のみ**
●電池を機器内に挿入する場合、極性表示 ＋ と － の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

##  注意

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。

●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業時のけがや事故には十分ご注意ください。

●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。

●万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。

**準 備** セッティング

**すべての接続が終了するまで、PLS-1510の電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。**

# アンテナの接続（FM放送用）付属の室内アンテナ 市販の屋外アンテナ

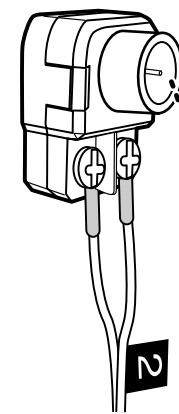
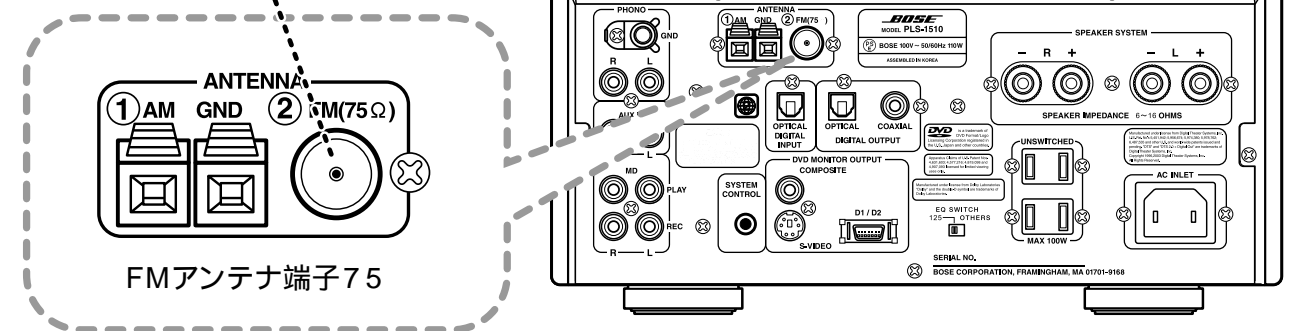
アンテナの接続は雑音低減のため、システムの背面から離して設置してください。

**アンテナを接続しないと放送は受信できません。FM放送を良好に受信するために、FM専用の屋外アンテナを使用することをおすすめします。**

**※屋外アンテナを設置する場合**
**電波の状況は、地域によって異なります。必ず地元の電器店または、電気工事店にご相談ください。**

## ●T型FMアンテナの接続

付属のT型FMアンテナをFM７５Ωアンテナ端子に接続します。アンテナは先端を延ばし、放送を聴きながら受信が最良になるようにアンテナの方向を決めて、天井や壁に固定してください。このときアンテナの位置が低いと、人が通るたびに受信が不安定になります。

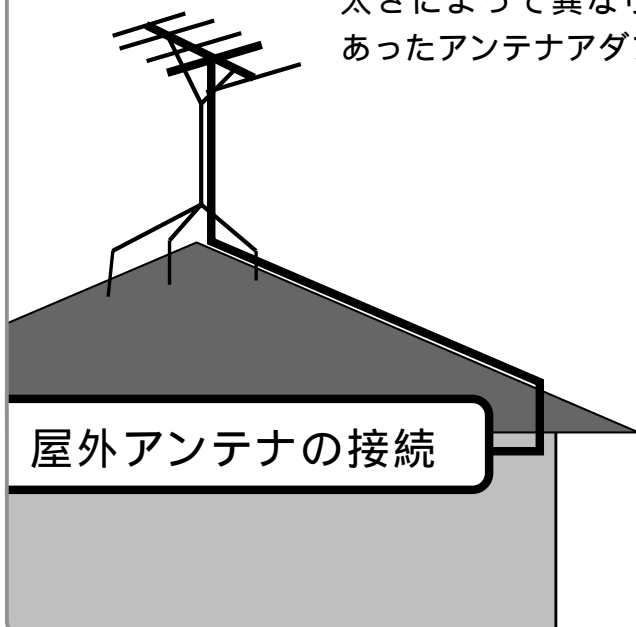
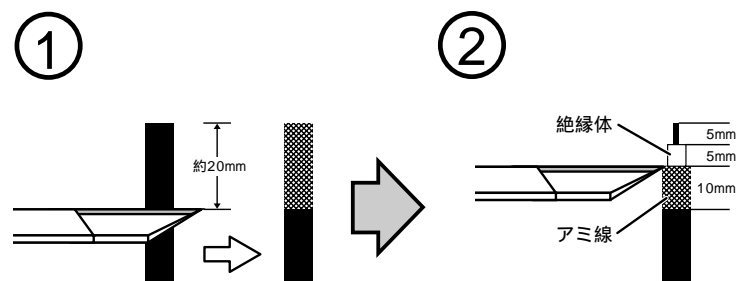
**※より音質良く雑音の少ない受信をするためには、屋外アンテナをご使用することをおすすめします。**

## ●市販のアンテナアダプターと75Ω同軸ケーブルの接続方法

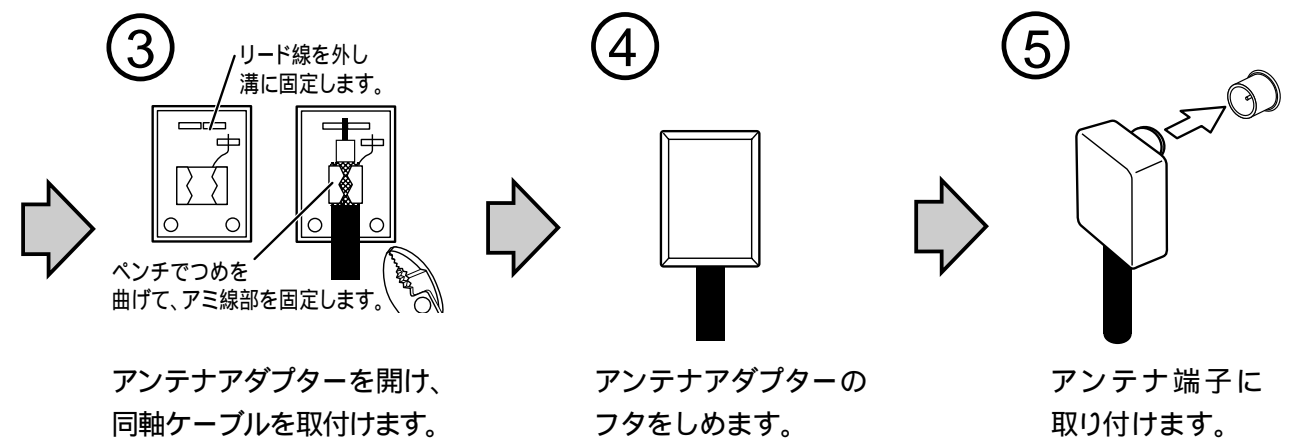
アンテナアダプターはお使いになる同軸ケーブルの太さによって異なります。同軸ケーブルの太さにあったアンテナアダプターをお求めください。

**屋外アンテナの接続**

**注意** 屋外アンテナを設置する場合は、必ず地元の電器店など専門の業者にご相談ください。確実に固定されないと、アンテナが外れたり、落下して事故になるおそれがあります。

①

②

**外の被覆をナイフなどで約20mm切り取ります。**

**同軸ケーブルを図のように加工します。**

③

**アンテナアダプターを開け、同軸ケーブルを取付けます。**

④

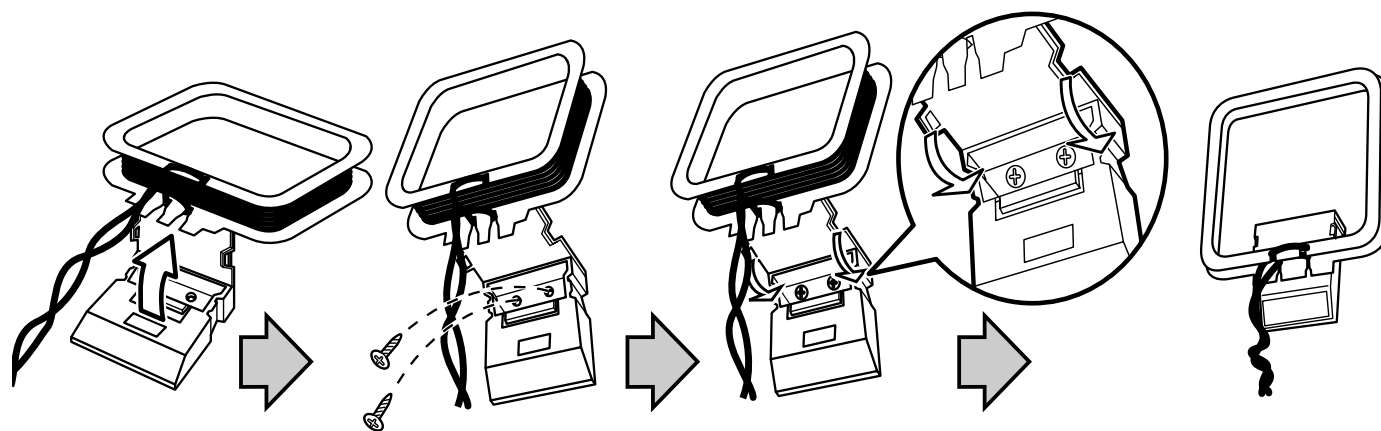
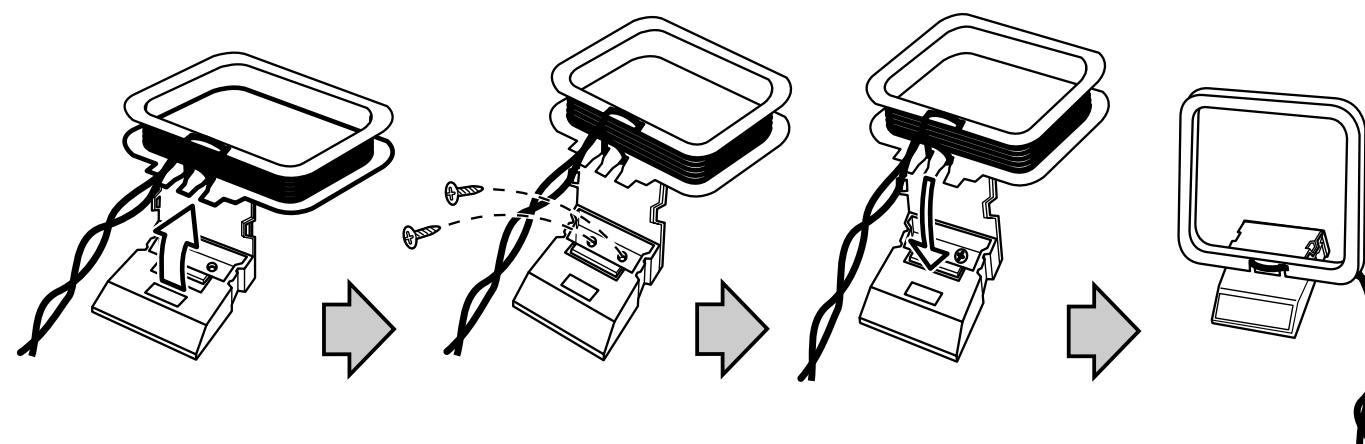
**アンテナアダプターのフタをしめます。**

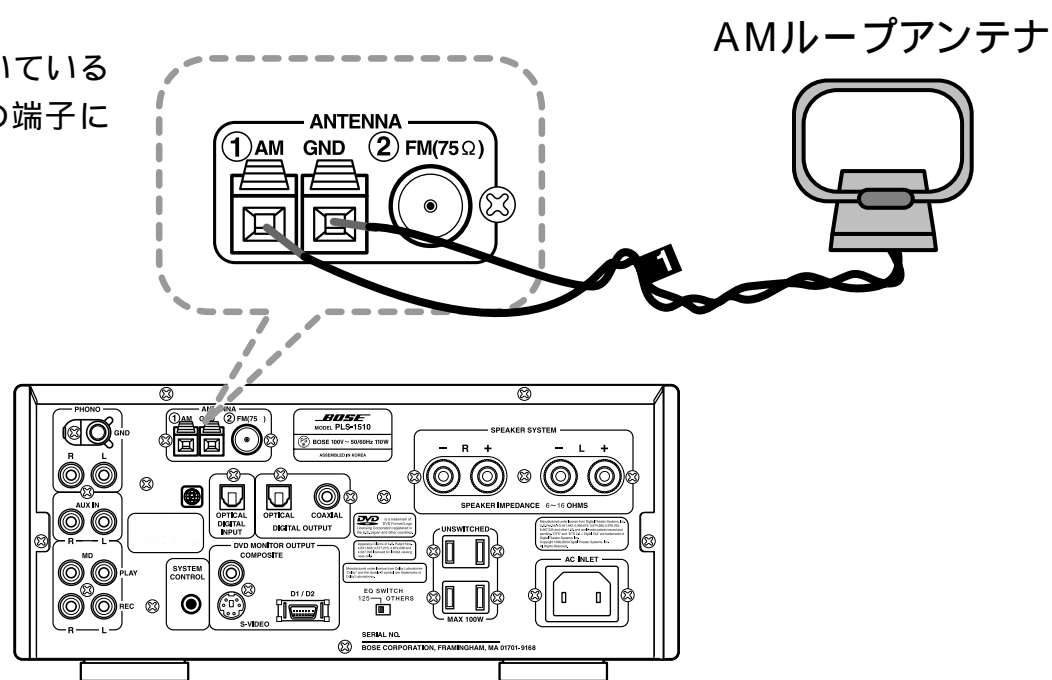
⑤

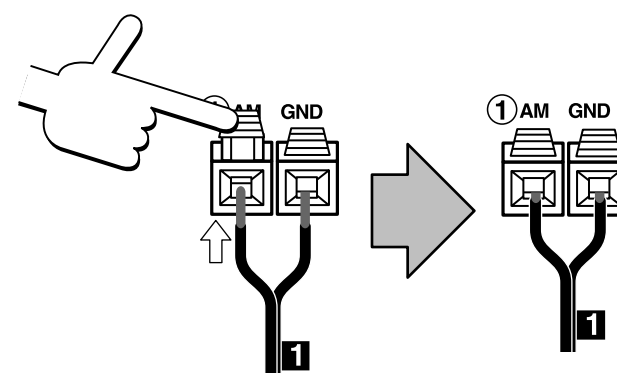
**アンテナ端子に取り付けます。**

# アンテナの接続（AM放送用）

## ●AMループアンテナの組み立ておよび取り付け

### 柱などに固定する場合

### 棚や台などに固定する場合

## ●AMアンテナ端子の接続方法

**1** の旗がついているコードを①の端子に接続します。

**AMループアンテナ**

固定レバーを指で押しながらコードの先端を差し込みます。

ループアンテナは放送を聴きながら最良の受信状態になる場所をさがして設置してください。受信状態は設置する向きによっても変わりますので、最良の受信状態になる向きにしてください。

ＡＭループアンテナを次のような場所に設置すると受信状態が悪くなります。

- **電源コードやスピーカーコードの近く。**
- **本機の上や後ろやビデオデッキ、テレビの近く。**
- **蛍光灯の近く。**

# その他の機器の接続

**すべての接続が終了するまで、PLS-1510の電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。**

●接続する前に、本機に接続するオーディオ機器やビデオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

●左右チャンネル、入力・出力端子をよく確かめて、正しく（左と左、右と右）接続してください。

●プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。

●システムコントロールケーブルは、雑音低減のため、アンテナ線から離してください。

**レコードプレーヤーの接続について**

**フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーでMM型カートリッジを使用しているものに限ります。**

※レコードプレーヤーの一部にはGNDがないものがあります。レコードプレーヤーの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

**レコードプレーヤー**

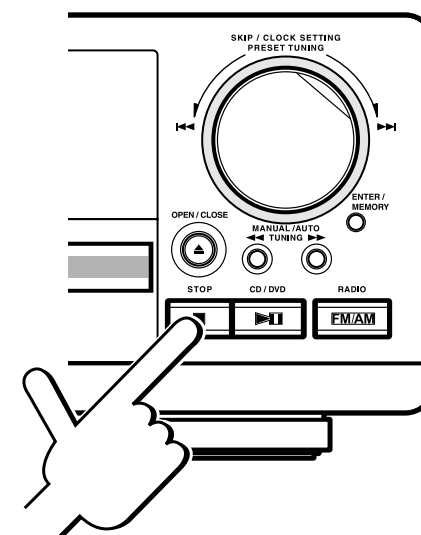
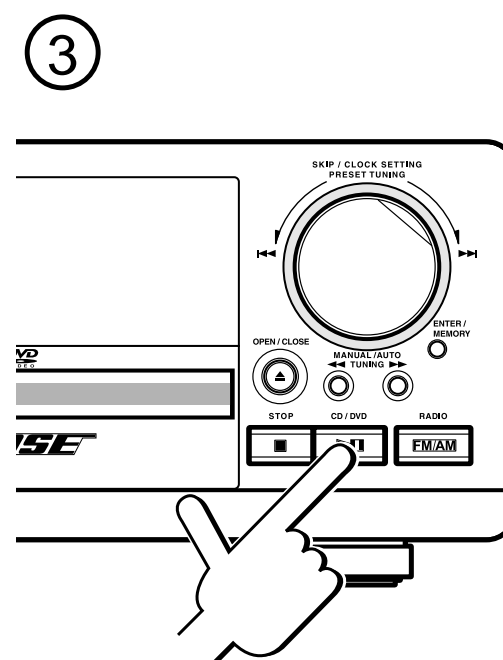
**重要**

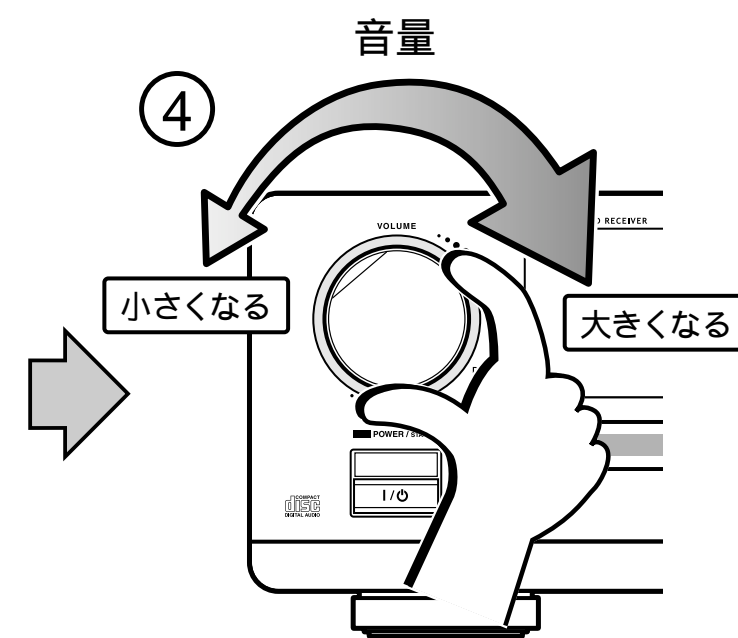
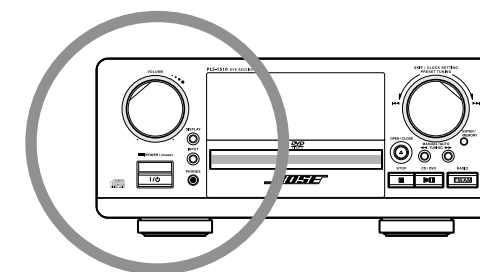
**PHONO入力端子へは、レコードプレーヤー以外は接続できません。本機はレコードプレーヤーのフォノイコライザーを搭載しています。PHONO入力端子へは、フォノイコライザーが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続してください。**

※フォノイコライザーを内蔵しているレコードプレーヤーをご使用になる場合は、PLS-1510のAUX入力端子へレコードプレーヤーを接続してください。

# CD／DVD／MP3を楽しむ

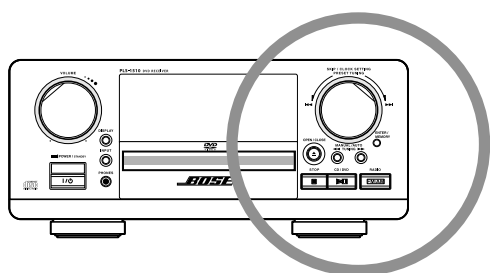
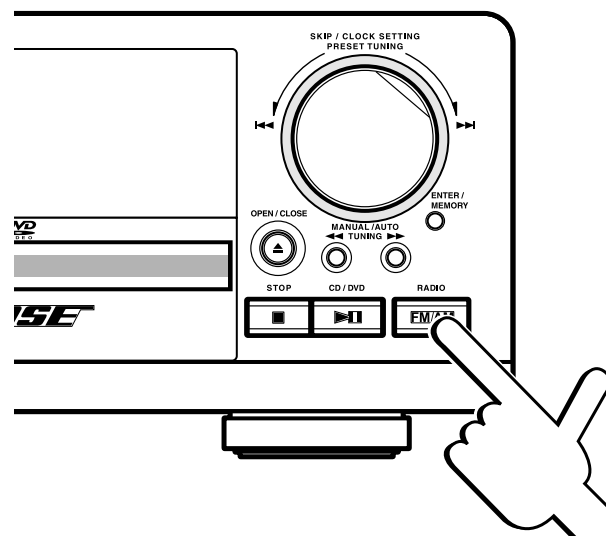
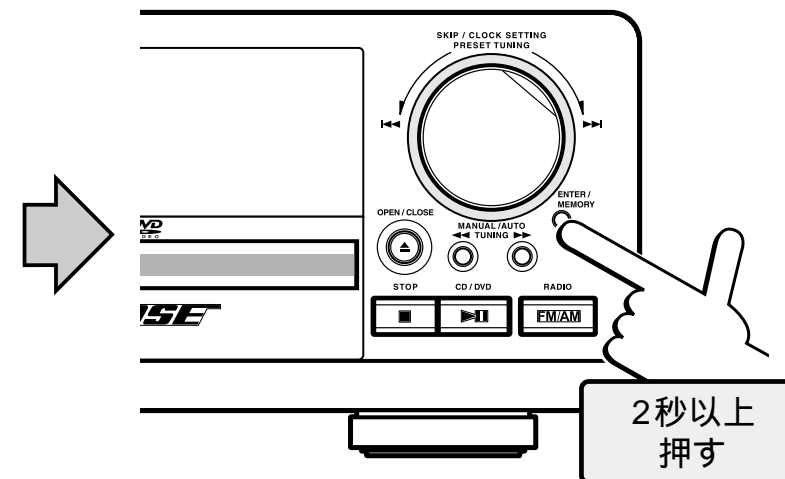
①

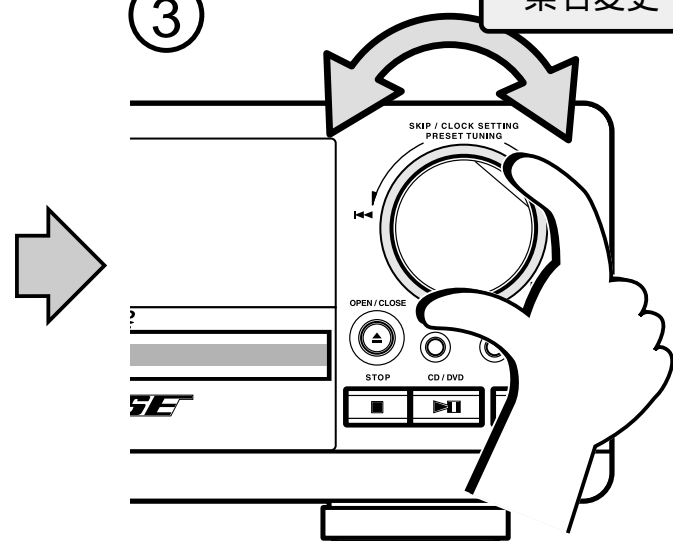
**●ディスクは、レーベル面を上にしてセットしてください。8cmシングルは内側のディスクガイドにセットしてください。**
**ディスクは2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください。**
**P.63参照**

## ●リジュームストップについて

■ STOP（ストップ）キーを1回押すとリジュームインジケーターが点灯しディスクが停止します。リジュームインジケーターが点灯している時に▶II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押すと前回停止させたあたりから再生を開始します。（P.65参照）

## ●エリアファインメモリーについて

はじめてラジオを聴くときに行ってください

① ラジオモードにする

②

都府県名や地域名を選ぶ

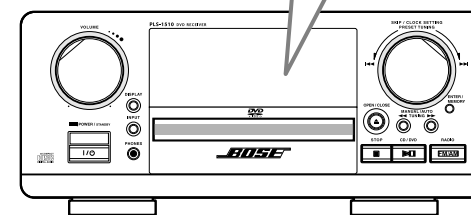
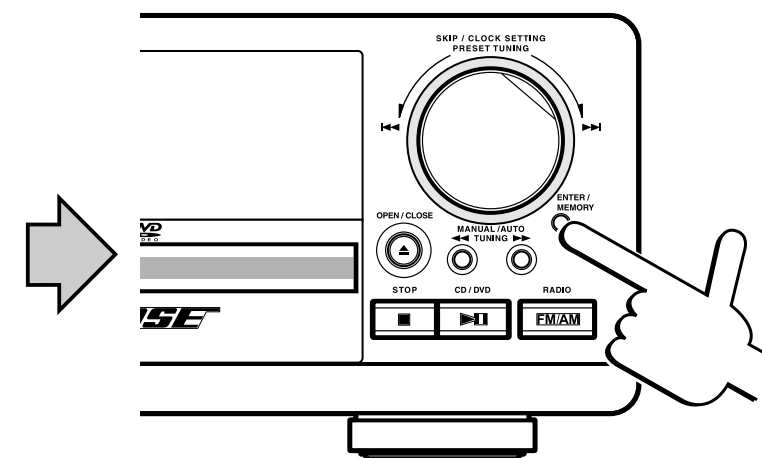
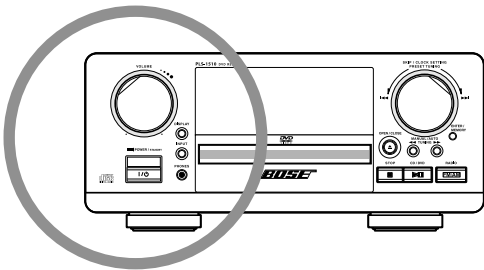
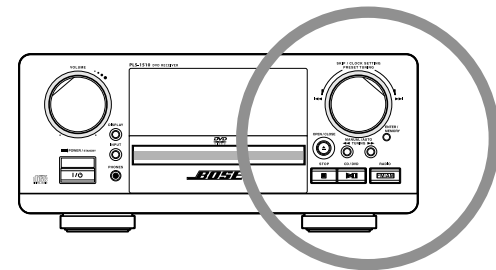
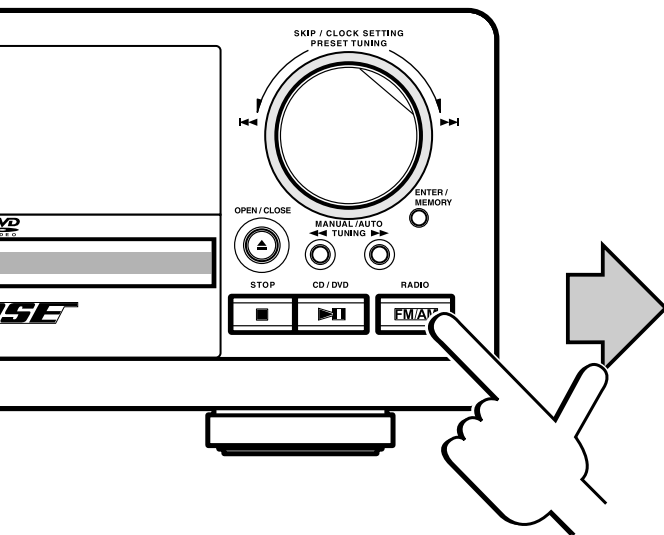
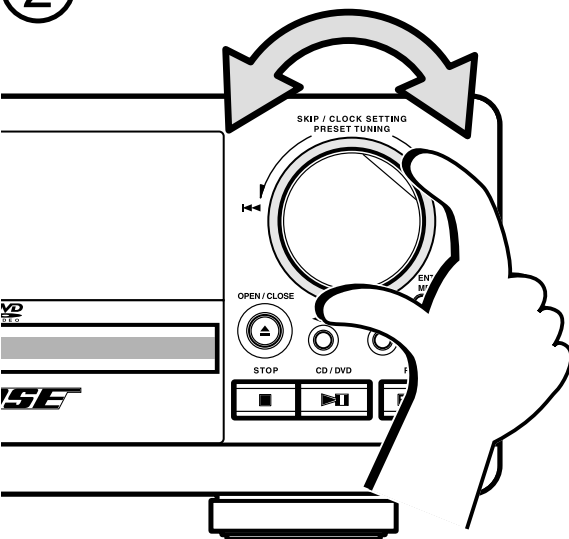
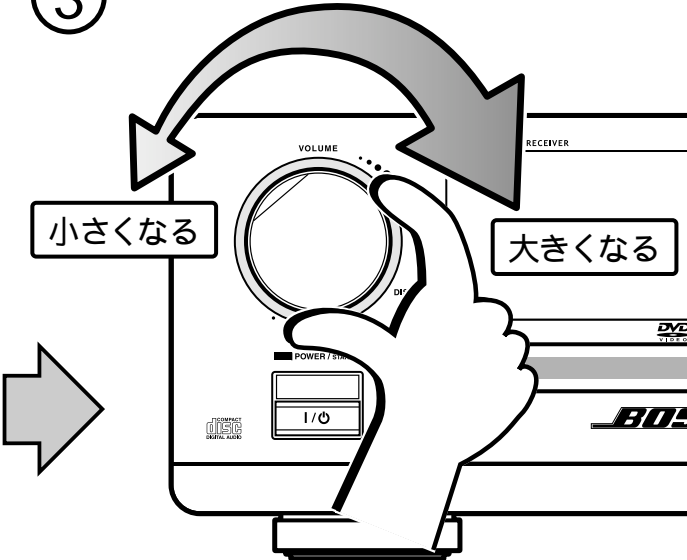
③

**たとえば大阪の場合は**

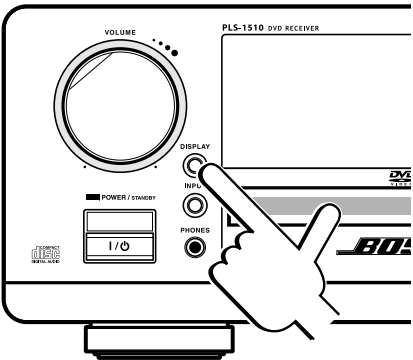
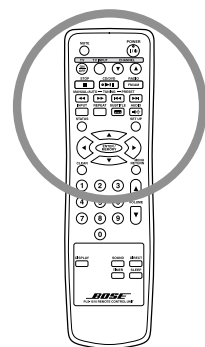
ENTER/MEMORYキーを2秒以上押して、ジョグダイヤルを回して“ オオサカ ”を選びENTER/MEMORYキーを押します。

**都府県名や地域名を選ぶ**

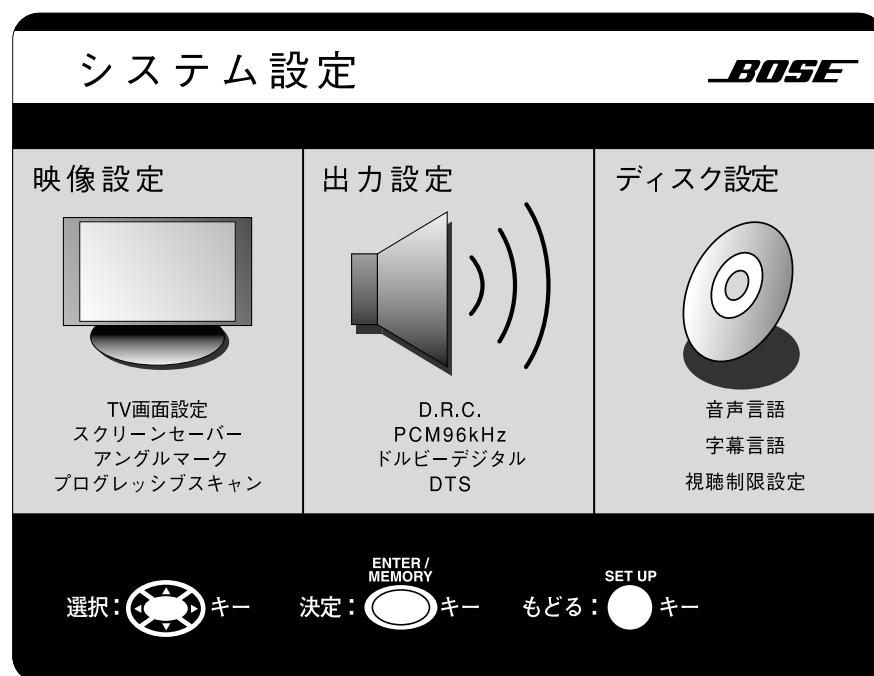
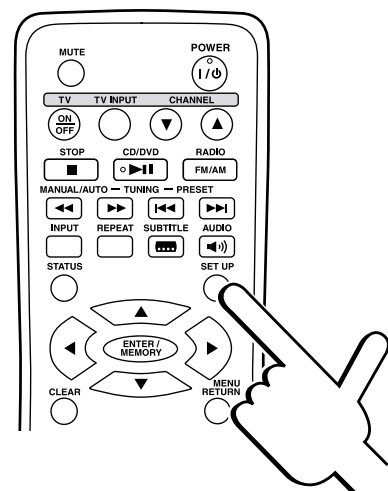
**※埼玉県、千葉県、神奈川県は“トウキョウ ”の放送局に含まれていますので東京を選んでください。**

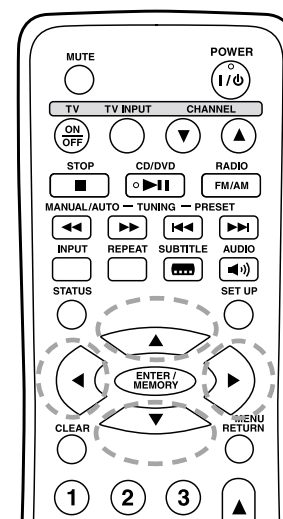
**※奈良県はお住まいの地域に合わせて隣接県を選んでください。**

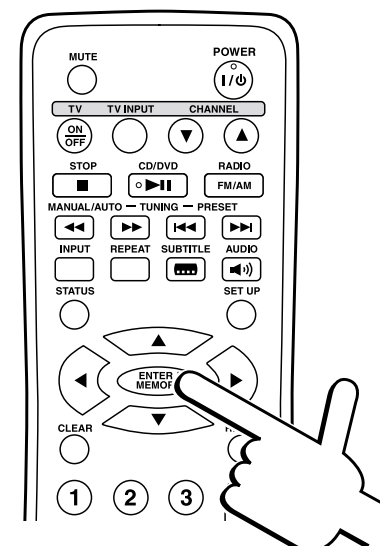
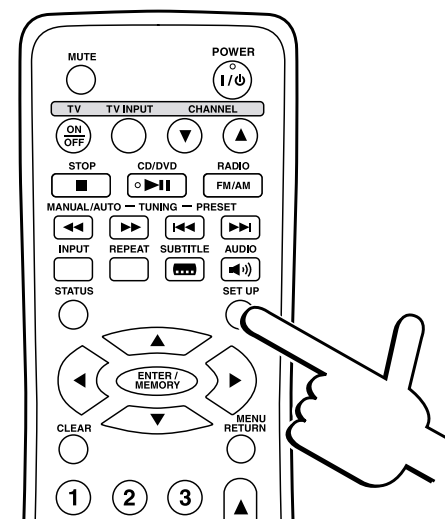
④ 決定

## ●FM放送、AM放送を楽しむ

FM放送、AM放送を見分けるには、DISPLAYキーを押して周波数表示に変えてください。

## ●システム設定画面について

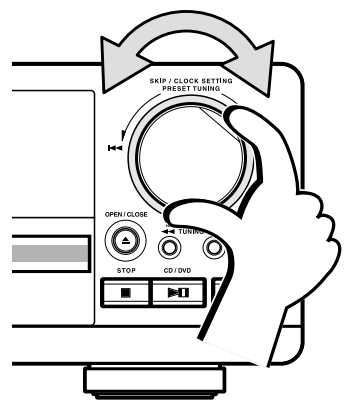
● ▶❙❙ キーを押して、CD/DVDモードにするか、すでにCD/DVDモードになっていることを確認してください。

### システム設定画面の表示

**設定については画面に表示される説明と「用語の説明」（P64～65）を見ながら行ってください。**

選択：キー

▲または▼キーで項目変更、◀または▶キーで各設定を行います。

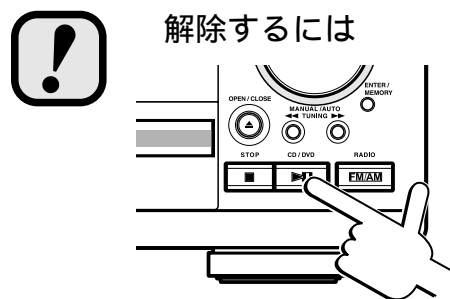
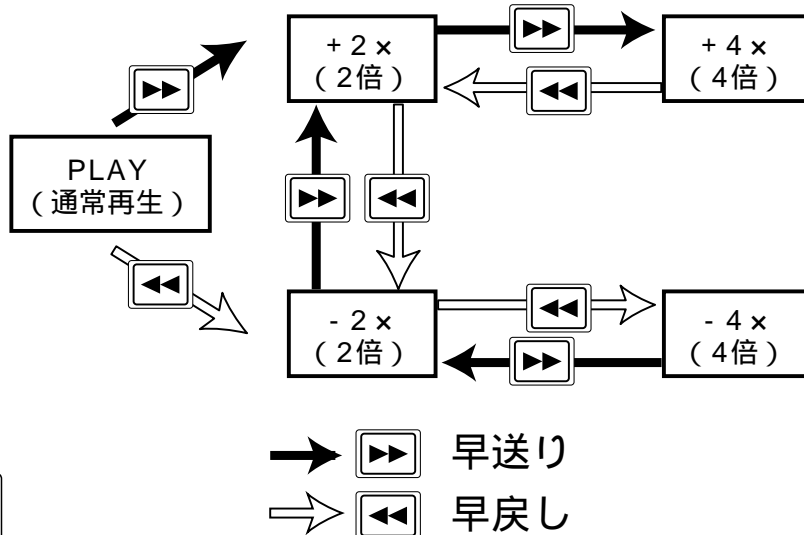
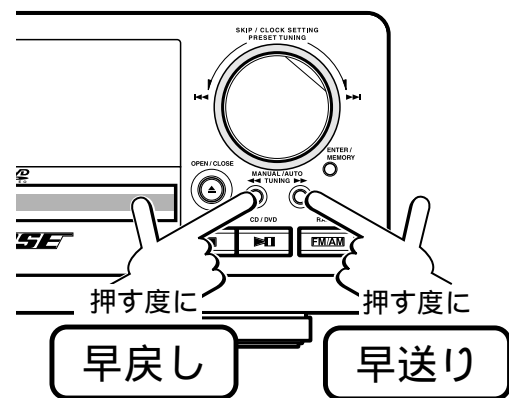
ENTER / MEMORY
決定：キー

各設定を決定します。

ひとつ前の画面に戻ります。

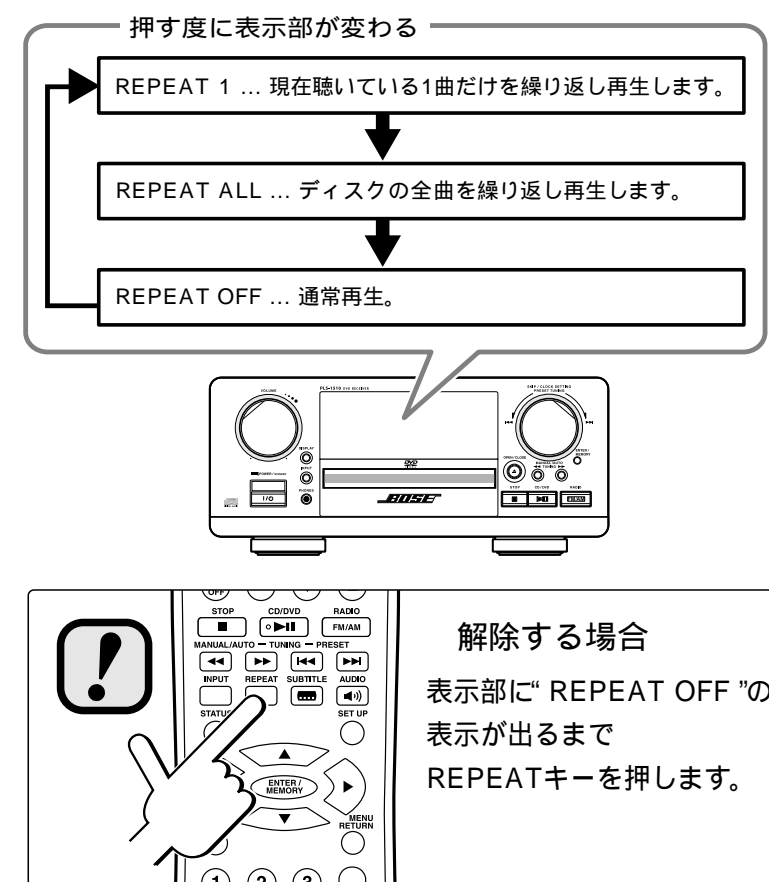
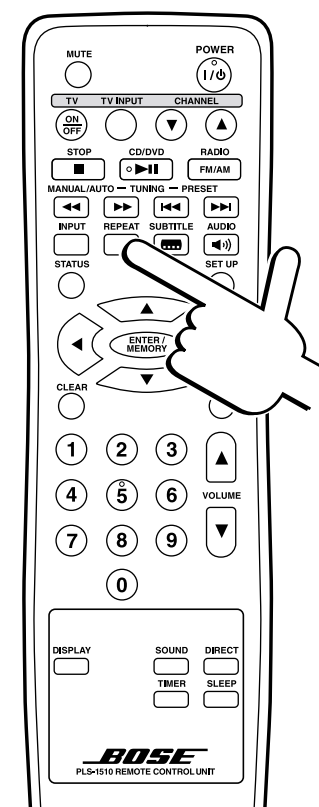
## ●ダイレクト選曲

**ジョグダイヤルを回して聴きたい曲番号を選びます。**

リモコンで行うときは
P53参照

## ●スキップ選曲

## ●早戻し/早送り

**●解除するには**

**●DVDビデオ再生時の早戻し、早送り中は音が出ません。**

## ●リピート再生

**●解除する場合**

**表示部に" REPEAT OFF "の表示が出るまでREPEATキーを押します。**

## ●MP3の再生（ファイル）/（フォルダー）

※表示部には最大8文字までしか表示されません。

ファイルだけの場合

1曲目から再生

●ファイル、または
フォルダーを選ぶ

●停止中にSTOPキーを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

●停止するには

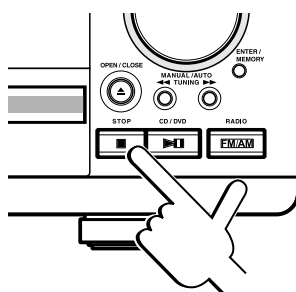
MP3のいろいろな再生について

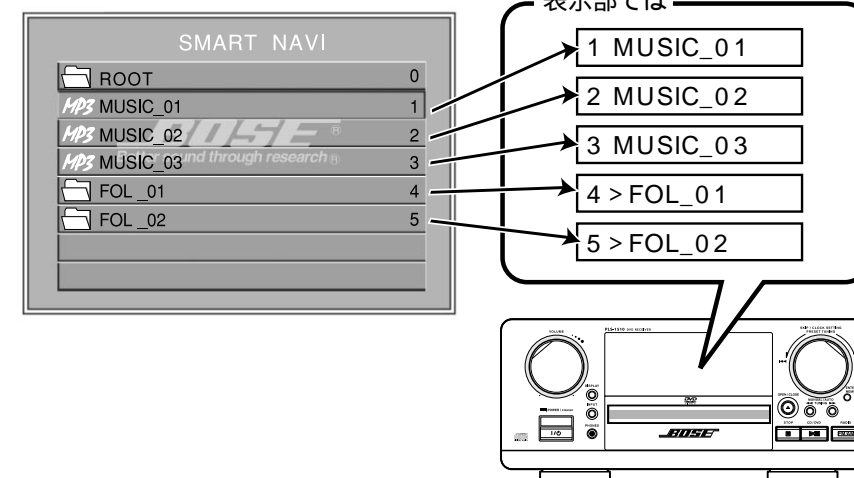
**●スキップ選曲** スキップ選曲 P.26

いろいろな再生（CD）のスキップ選曲と同じ操作です。

**●リピート再生** リピート再生 P.27

いろいろな再生（CD）のリピート再生と同じ操作です。

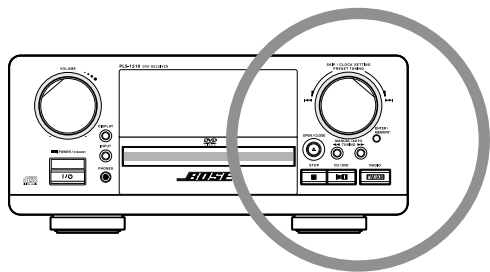
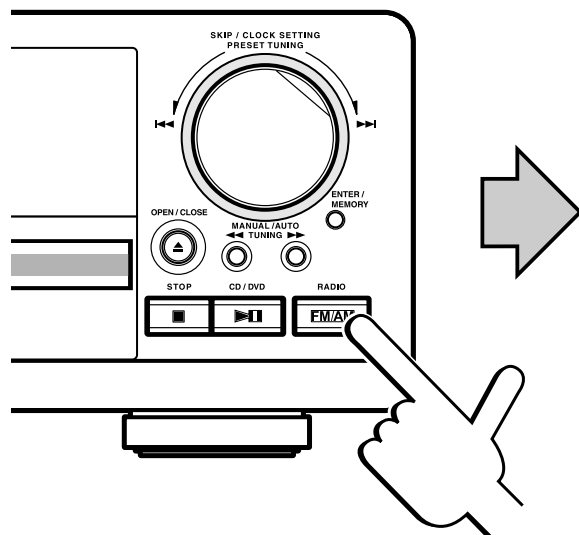
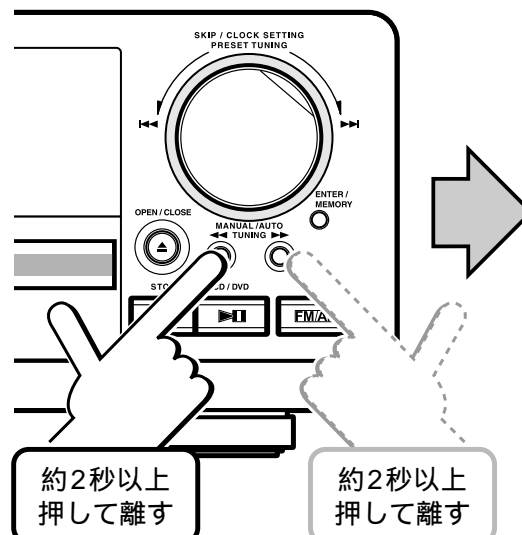
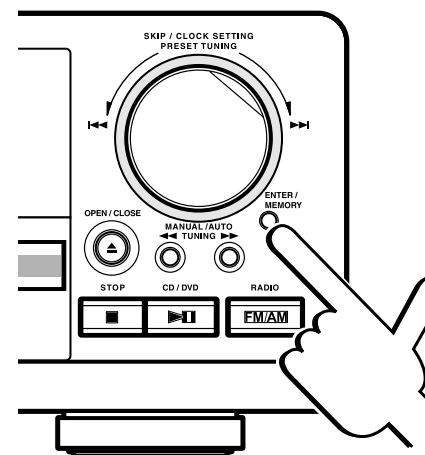
・REPEAT F…選択したフォルダ内の全ファイルを繰り返し再生します。
・REPEAT 1…選択した1つのファイルを繰り返し再生します。

表示について

たとえば、MP3のファイルが3曲、フォルダーが2つあるディスクを再生した場合

## ●スキャン（自動）チューニング

エリアファインメモリーに登録されていない放送局を追加したい場合や、いくつかの地域にまたがって受信する場合の登録のしかたです。

① FMまたはAMを選ぶ

②

③ 登録

●空いているプリセットチャンネル番号の一番小さい番号に登録されます。
●登録できるチャンネル数はFM、AM放送局それぞれ15局まで登録できます。

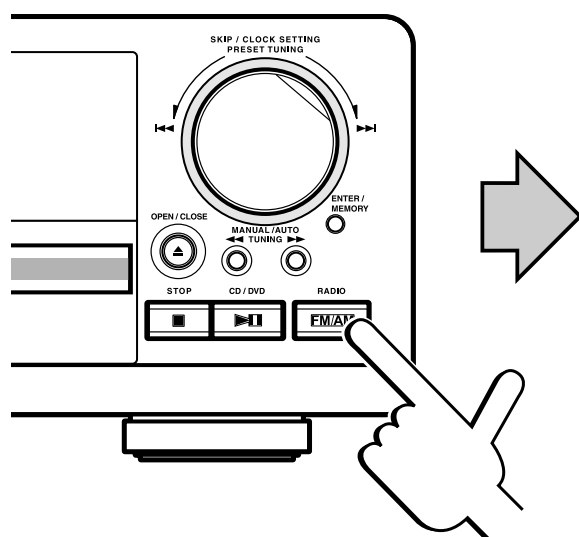
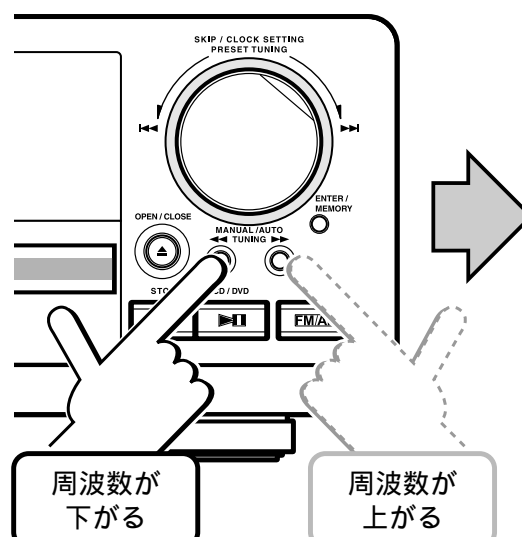
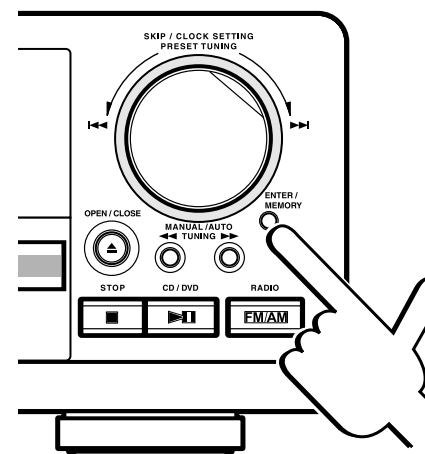


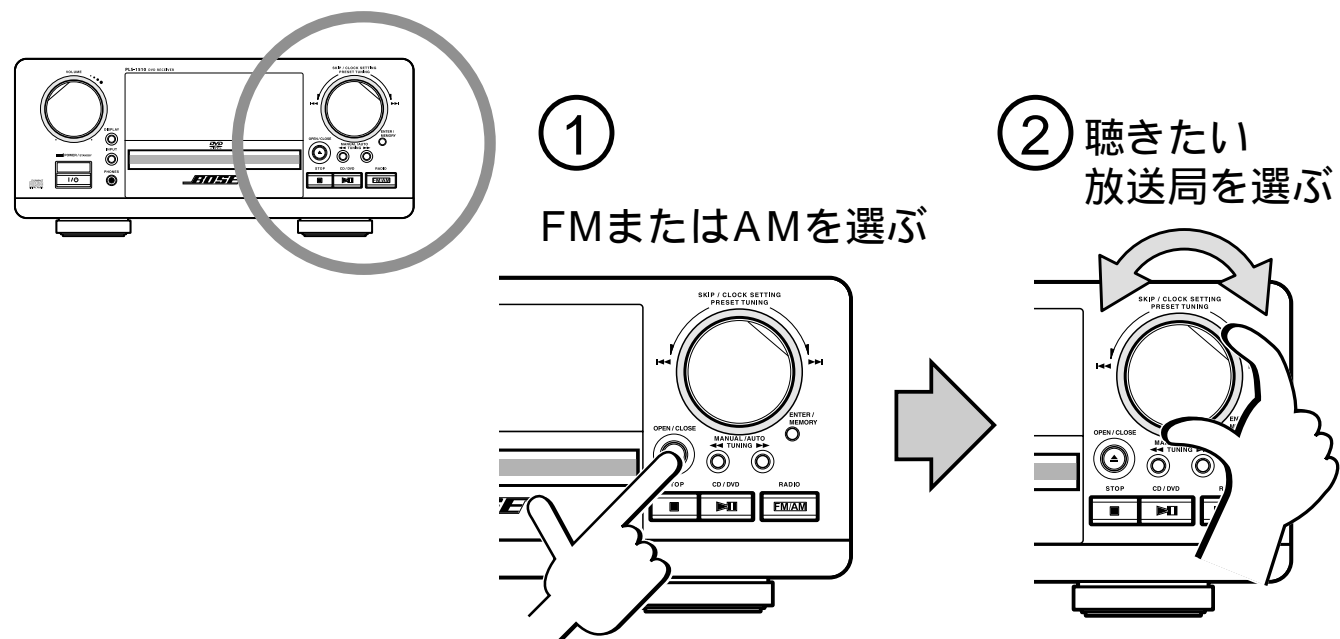

## ●マニュアル（手動）チューニング

電波が弱いあるいは雑音が多い場合はスキャンチューニングができません。
この場合はマニュアル（手動）で選局を行い、FMまたはAM放送局を受信します。

① FMまたはAMを選ぶ

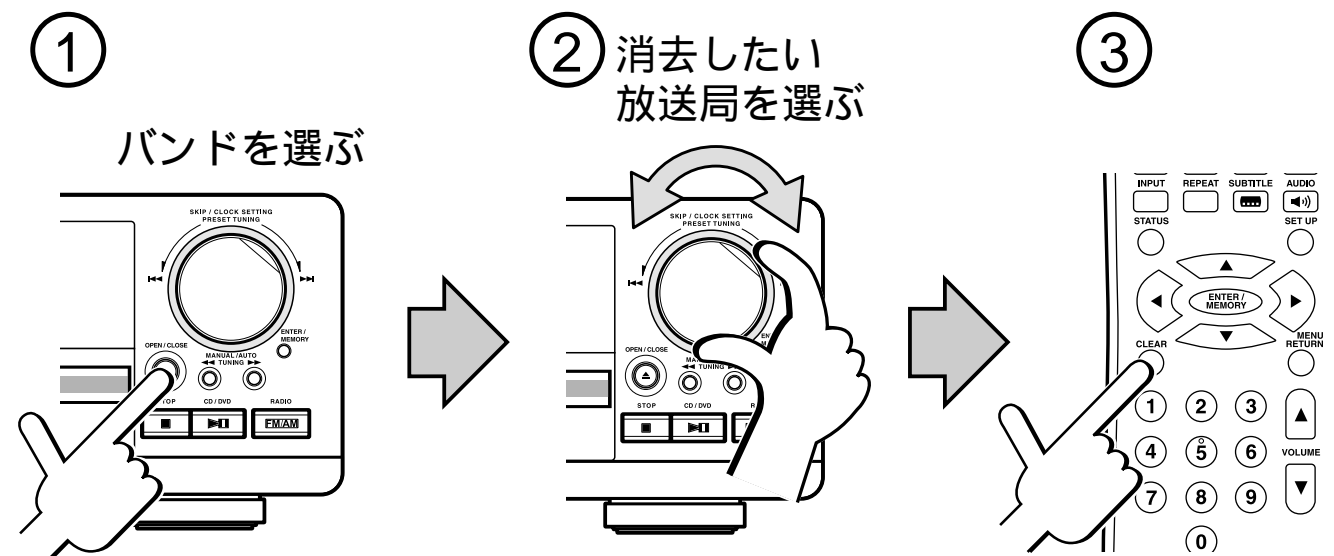
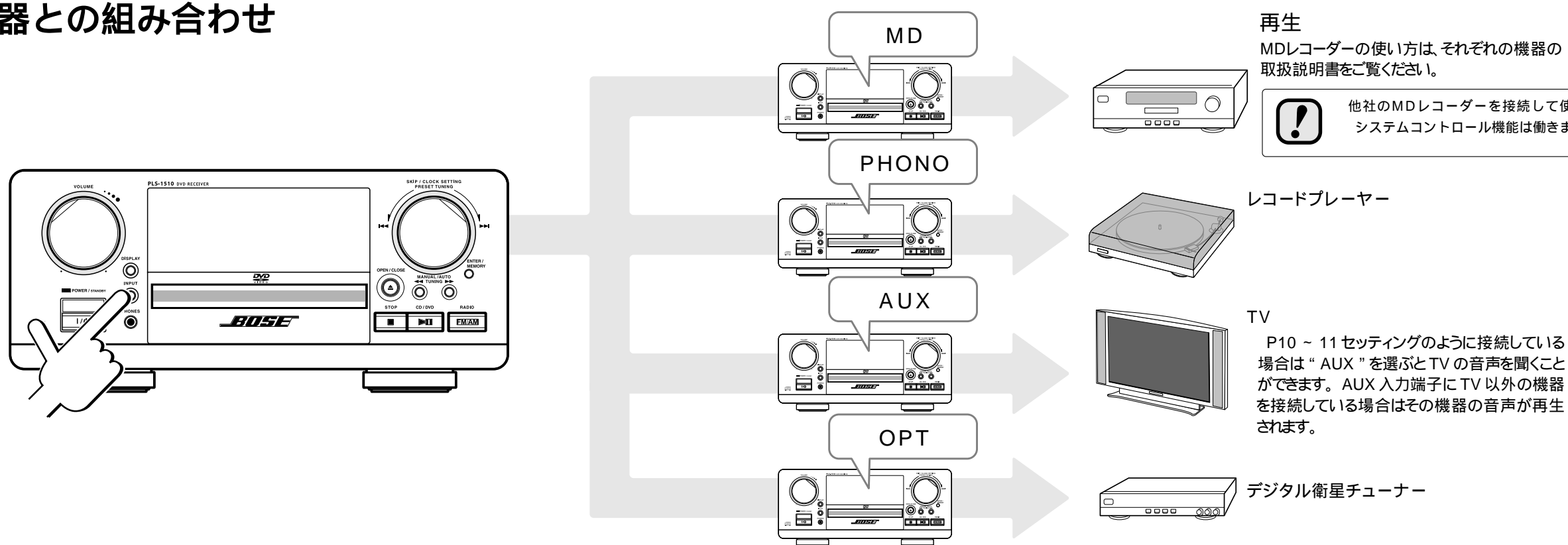
②

③ 登録

●空いているプリセットチャンネル番号の一番小さい番号に登録されます。
●マニュアル受信したFM放送局は、全てモノラルになります。

## ●プリセットした放送局の呼び出し

## ●プリセットチャンネルの消去

## ●その他の機器との組み合わせ

**再生**

MDレコーダーの使い方は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

●他社のMDレコーダーを接続して使用する場合は、システムコントロール機能は働きません。

**レコードプレーヤー**

**TV**

※ P10～11 セッティングのように接続している場合は " AUX "を選ぶと TV の音声を聞くことができます。AUX 入力端子に TV 以外の機器を接続している場合はその機器の音声が再生されます。

**デジタル衛星チューナー**

## ●ステータスバーについて

※ソフトによってはこの機能が使えないものもあります。

### ステータスバーの表示

## ●頭出し

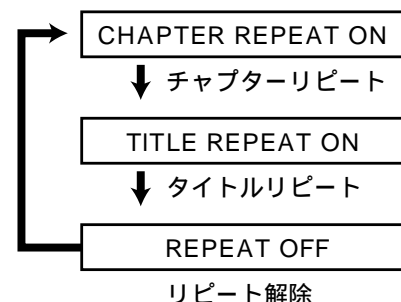
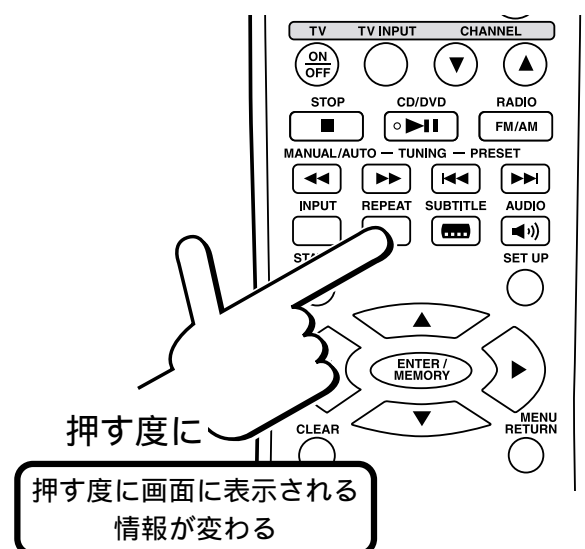
## ●早戻し/早送り

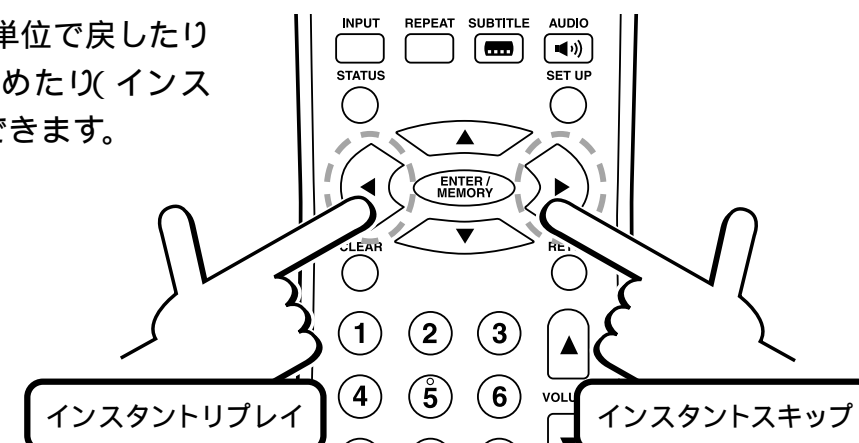
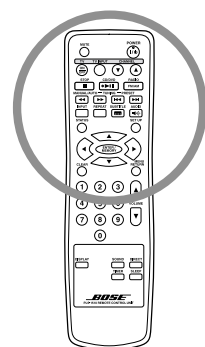
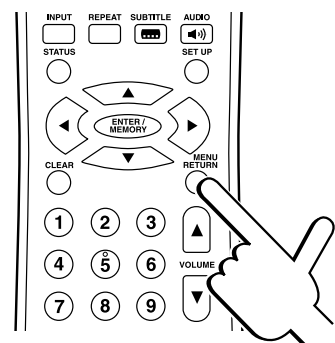
早送り

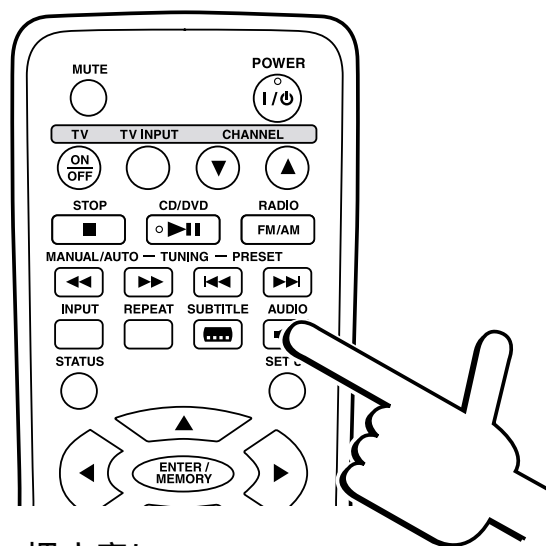
早戻し

●解除するには

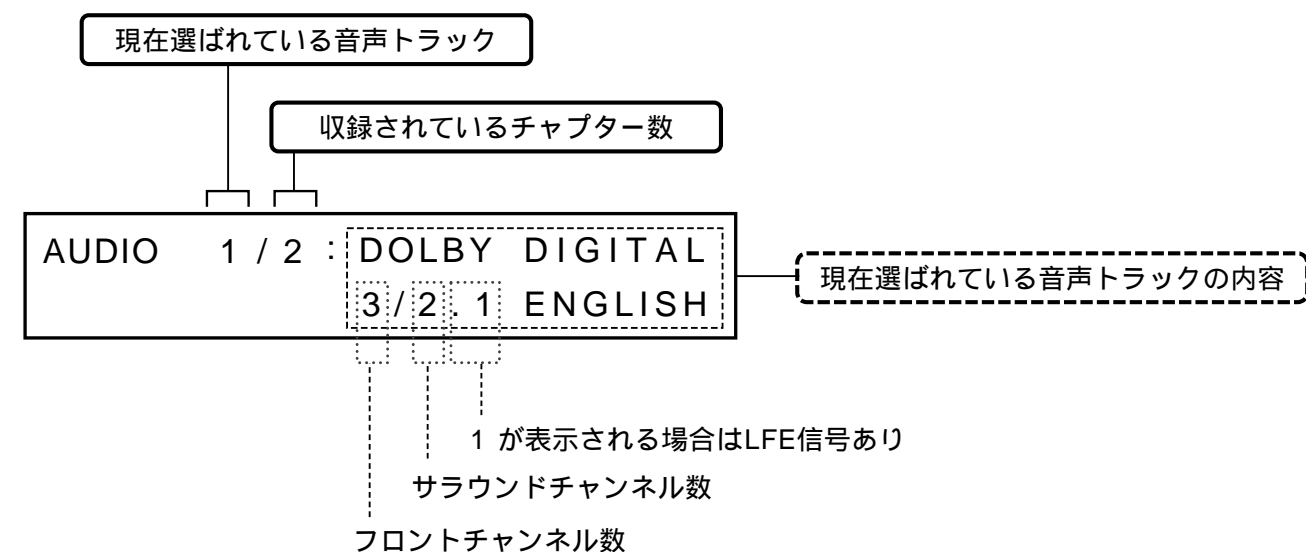
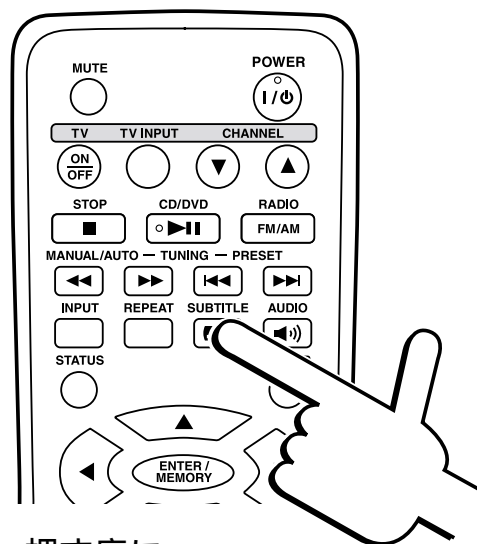
●早戻し、早送り中には音が出ません。

## ●リピート再生

## ●インスタントスキップ（INSTANT SKIP）/ インスタントリプレイ（INSTANT REPLAY）

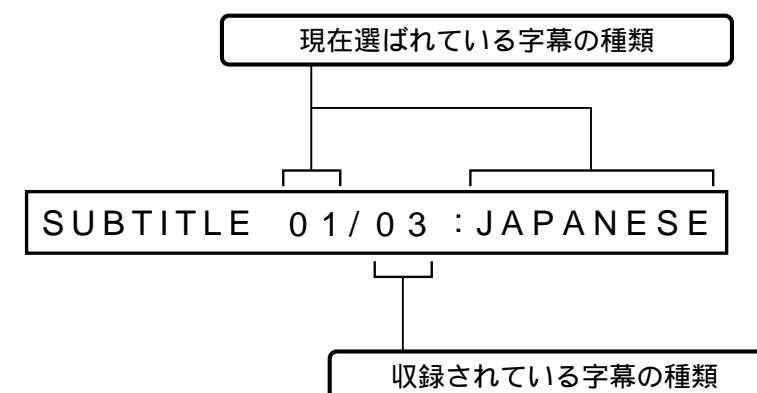
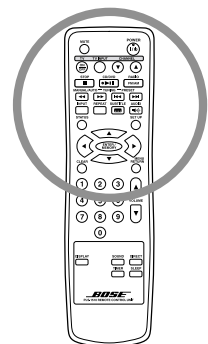
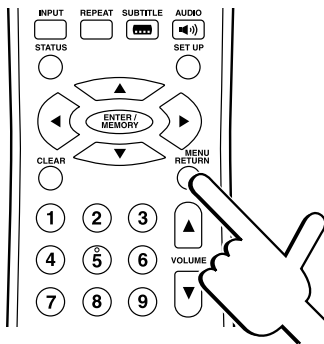
◀ または▶ を押すと10秒単位で戻したり（インスタントリプレイ）、進めたり（インスタントスキップ）することができます。

**このページに記載されている機能は、再生するソフトによっては働かない場合があります。
また、メニュー画面でしか変更できない場合もあります。その場合はディスクのメニュー画面に切り換えて各機能の設定を行ってください。**

**ディスクのメニュー画面にするには、MENU/RETURNキーを押します。**

## ●音声の選択

**押す度に、
音声トラックが切り換わります。**

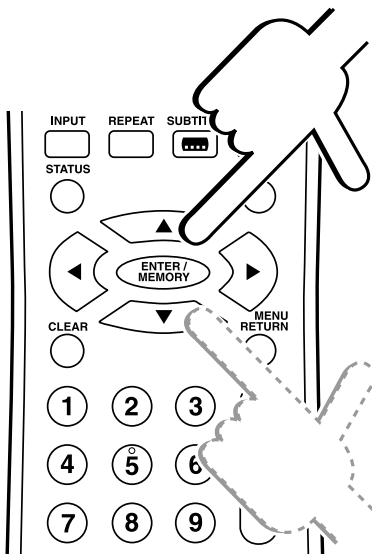
DVDに記録されている音声トラックで選びます。

**画面に表示される情報**

## ●字幕の切り換え

**押す度に、
字幕の種類が切り換わります。**

字幕が収録されたDVDビデオを再生中、
字幕言語の切り換えや字幕表示のON/OFFを行います。

**画面に表示される情報**

このページに記載されている機能は、再生するソフトによっては働かない場合があります。また、メニュー画面でしか変更できない場合もあります。その場合はディスクのメニュー画面に切り換えて各機能の設定を行ってください。

ディスクのメニュー画面にするには、MENU/RETURNキーを押します。

## ●アングルの選択

マルチアングルで記録されている場所では好きなアングルを選ぶことができます。

**注意**

ディスクにアングルのデータが記録されていない場合は働きません。
また、システム設定の映像設定でアングルマークの表示を「入」にしていないと働きません。P24参照

## ●視聴規制について

### 視聴制限（パレンタルコントロール）について

視聴制限とは、国ごとの規制レベルに合わせて視聴年齢制限のレベルが設定されているディスクの再生を制限するというDVDの機能の一つです。制限の仕方はDVDによって異なり、ディスクによっては子供に見せたくないシーンをカットしたり、全く再生できないようにする、別の画面に差し換えるものなどもあります。本機では子供がレベル設定を変えることのないように、暗証番号で設定を保護することができます。
通常各DVDにおける視聴許可レベルは全米映画協会(MPAA)によって設定された標準の映画観客指定に準拠しています。 これらの視聴許可レベルは1(どんなに小さい子供でも見せてよい)から8(成人向け)まであります。

| 視聴許可レベル | 視聴（年齢）制限のおよそのめやす | 全米映画協会映画観客指定 |
|---|---|---|
| 8 | 最も厳しい視聴制限 | |
| 7 | 17歳以下入場禁止 | NC-17 |
| 6 | 17歳未満保護者同伴要 | R |
| 5 | 中学生以下保護者同意要 | |
| 4 | 13歳未満保護者同意要 | PG-13 |
| 3 | 年少者保護者同意要 | PG |
| 2 | ほぼ年齢制限なし | |
| 1 | 一般（年齢制限なし） | G |

※適切な視聴許可レベルは、実際に視聴制限のレベルが設定されているDVDソフトをお買い上げになられたときに、お客様自身で動作させて、ご確認ください。

### 視聴許可レベルの設定

再生するDVDソフトにレベル設定がされている必要があります。本機で視聴許可レベルを設定しても、DVDソフトにレベル設定がされていなければ、この機能は使用できません。

### 視聴許可レベルの意味

「一般（年齢制限なし）（レベル1）」とは、どんな小さな子供にも見せることができる内容であるという意味です。本機で視聴許可レベルを［1］にすると、レベル2～8に設定してあるＤＶＤソフトを視聴することができなくなるという意味です。

| PLS-1510のレベル設定 | 視聴可能なソフトの視聴制限レベル |
|---|---|
| 8 以下 | 8 7 6 5 4 3 2 1 |
| 7 以下 | 7 6 5 4 3 2 1 |
| 6 以下 | 6 5 4 3 2 1 |
| 5 以下 | 5 4 3 2 1 |
| 4 以下 | 4 3 2 1 |
| 3 以下 | 3 2 1 |
| 2 以下 | 2 1 |
| 1 | 1 |

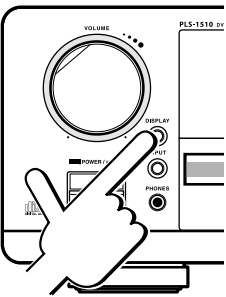
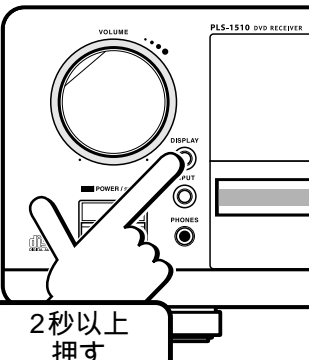
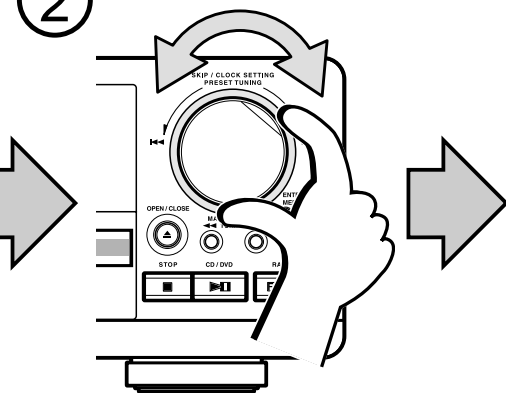
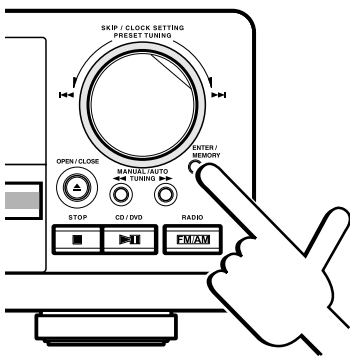
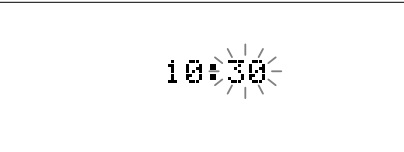
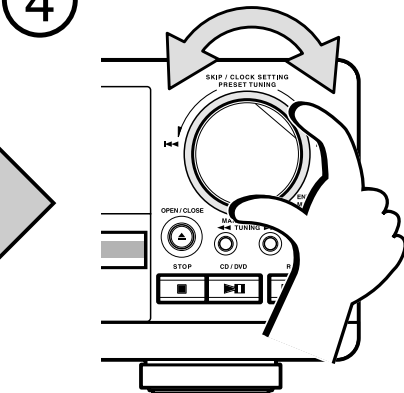
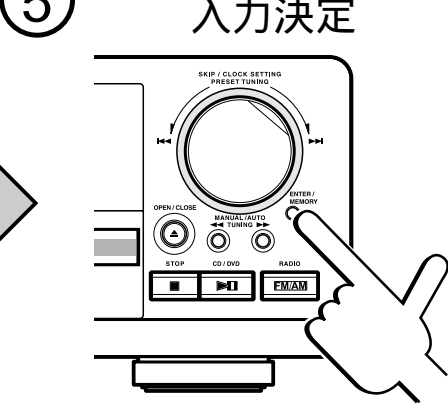
### 視聴規制レベルの変更と暗証番号の変更

●CD/DVDモードになっていることを確認してください。

システム設定 → ディスク設定 → 視聴制限の項目を選んで、画面のヘルプに従って変更してください。

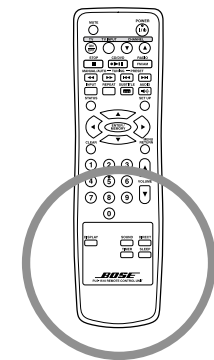
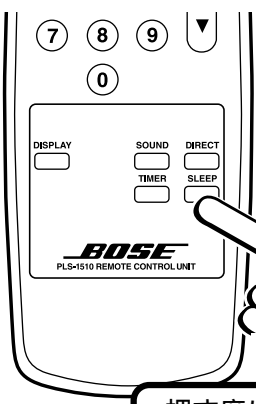
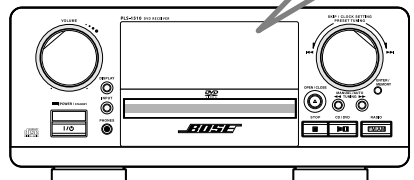
●暗証番号の初期設定（工場出荷時）
番号は「1 2 3 4」です。はじめて視聴規制レベルの設定を変更する場合は、「1 2 3 4」と入力してください。また、暗証番号を忘れてしまった場合、「2 6 7 3」を入力すると暗証番号が初期設定番号に戻ります。もう一度「1 2 3 4」と入力して暗証番号を新たに設定してください。

## ●時計を合わせる

時計表示の切り換え

押す度に、表示部が時計表示と時計以外の表示に切り換わります。
（表示部の切り換えについてP60参照）

・2秒以上長押しすると現在時刻の設定ができます。
・長押ししないと「時計表示の切り換え」動作になります。

●時計合わせを行うまで、表示部の時計表示は点滅しています。
●停電やACプラグを抜いた場合はもう一度時計合わせを行ってください。





## ●スリープタイマー

スリープタイマーをセットするとCDやMD、ラジオなどを聴きながらおやすみになっても、自動的に電源が切れて演奏を終了させることができます。

押す度に表示部が変わる

| 表示部 | | インジケーター |
|---|---|---|
| SLEEP AUTO | CDやMD※の演奏終了時に電源が切れます。 | AUTO SLEEP |
| SLEEP 90min<br>⋮<br>SLEEP 10min | 90～10分後に電源が切れます。SLEEPボタンを押すたびに、10分単位で設定ができます。 | SLEEP |
| SLEEP OFF | スリープタイマーを解除します。 | |

※ MDA-15と組み合わせて使用するときのみ。

### SLEEP AUTO時

●リピート再生モードを選んでいる場合は、STANDBY（スタンバイ）モードにはならないので、リピート再生モードを解除してから行ってください。
●DVDビデオの場合ソフトにより自動的にSTANDBY（スタンバイ）モードにならないソフトもありますので、DVDでスリープは設定できません。

便利な機能 CDでお目覚めのための簡単タイマーセット　（その他の音源を選んだり細かい設定はP46参照）

（その他の音源を選んだり細かい設定はP46参照）

●必ず時計を合わせてから行ってください。
●タイマーの解除のしかたは、電源ON時にTIMERキーを長押ししてください。

：ここで下の1・2の操作をすると、目覚めるときに鳴らしたい曲を選んでしかも、その曲の好きな部分まで早送りしておくと、その部分から再生させることもできます。

1.CDを再生させて、ジョグダイアルで選曲します。
2.スタートさせたい部分でストップキーを1回押しで" リジュームストップ "させます。

①

②

ディスクトレーは閉めなくてもいいです。

③

TIMER CD

④

2回押す

⑤ " 時 "を合わせる

⑥

⑦ " 分 "を合わせる

⑧

2回押す

⑨ 音量

小さくなる　大きくなる

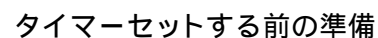
⑩

内容をチェックするときはスタンバイ時にTIMERキーを押します。

スタンバイにすると自動的にディスクトレーが閉じます。

## ●タイマーの使い方

タイマーをセットするとお気に入りのCDを目覚まし代わりに鳴らしたり、放送内容をタイマー録音することができます。

**タイマーセットする前の準備**

**●時計を合わせてから行ってください（P42参照）**

**●タイマー再生またはタイマー録音する音源を準備します**

**CDをタイマーで再生する場合**

CDのディスクを入れます。

**ラジオをタイマーで再生する場合**

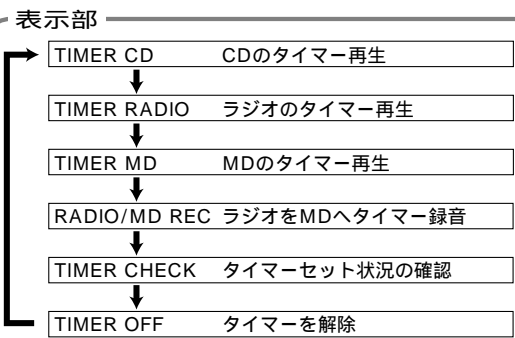
タイマー動作させる放送局をプリセットメモリーの中から受信します。

**MDをタイマーで再生する場合**※

MDのディスクを入れます。好みの曲を聴く場合はプログラムしてください。ランダムモードの場合はランダム再生できます。

**ラジオをMDへタイマー録音する場合**※

録音用のディスクを入れます。タイマー録音する場合はアナログ入力（ANALOG IN）を選択し録音レベルを調整しておきます。

**※ボース社MDA-15との組み合わせ時のみ使える機能です。**

**※以前一度でもタイマーのセットを行っていれば、このキーを長押しすることで、最後にセットした内容のタイマーを呼び出しセットすることができます。**

**目覚まし時計のように使うには**

①リモコンのTIMERキーを長押しし、設定してあるタイマー設定を呼び出します。
②朝起きたら、リモコンのTIMERキーを長押しして、タイマーを解除します。

P.48へ続く

# タイマーの活用

## タイマー解除と内容の確認のしかた　電源ON時

- 解除するには、①音源を選ぶ操作のときに“ TIMER OFF ”を選んでENTER/MEMORYキーを押してください。
- 電源ON時にTIMERキーの長押しで解除することができます。
- セットしたタイマーの内容を確認するときはリモコンのTIMERキーを押します（スタンバイ時でもできます）。

**MUTEキー**
音声を一時的に止めることができます。もう一度このキーを押すか、VOLUME ▲ のキーを操作すると、ミュートは解除されます。

**TV ON/OFFキー、INPUTキー**
テレビの電源のON/OFF(スタンバイ)と入力を切り換えます。設定のしかたはP.54参照。

**■ STOP（ストップ）キー**
○**音楽CDディスクのとき**
・**通常再生モード時**…RESUME（リジューム）状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。
・**リピート再生モード時**…RESUME（リジューム）状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。
○**DVDビデオ時**…PLAY、PAUSE中に押すと、RESUME（リジューム）状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。

**POWERキー**
電源のON、
スタンバイを切り換えます。

**CHANNELキー**
設定したテレビのチャンネルを切り換えます。

**RADIO［AM/FM］キー**
入力ソースをラジオに切り換えます。キーを押す度に、FMとAMを切り換えます。

**►II CD/DVD［PLAY/PAUSE］（プレイポーズ）キー**
ディスクの再生を行います。再生中に押すと、再生を一時停止します。さらにもう一度押すと、再生を開始します。
DVD以外の音源を選択をしているときは、CD/DVDに切り換わりディスクの再生を開始します。また、スタンバイ時に、このキーを押すと電源が入り、このときディスクがセットしてある場合は、自動的に再生を開始します。

**►► （早送り）キー**
○**DVDビデオ、CDモード時**…キーを押す度に早送りの速度が上がります。
○**ラジオ時**…小刻みに押すと周波数が1ステップずつ進みます。押し続けるとオートチューニングになり、受信した周波数で止まります。

**◄◄ （早戻し）キー**
○**DVDビデオ、CDモード時**…キーを押す度に早戻しの速度が上がります。
○**ラジオ時**…小刻みに押すと周波数が1ステップずつ戻ります。押し続けるとオートチューニングになり、受信した周波数で止まります。

**INPUTキー**
入力を切り換えます。

**REPEATキー**
CD、MP3、DVDビデオのリピート再生を行います。

**（字幕切換）キー**
字幕が収録されたDVDビデオを再生中、字幕言語の切り換えや字幕表示のON/OFFを行います。

**◄)) （音声切換）キー**
DVDビデオの音声言語を切り換えます。

**I◄◄ （選曲）キー**
○**音楽CDディスク、MP3のとき**
・**通常再生モード時**…再生中の曲の先頭へ移動します。もう一度押すと、1つ前の曲の先頭に移動します。
○**DVDビデオ時**
・**PLAY、PAUSE中**…再生中のチャプターの先頭に移動します。もう一度押すと、1つ前のチャプターの先頭に移動します。停止中はキーを受け付けません。
・**タイトルリピートモード時**…再生中のチャプターの先頭に移動します。もう一度押すと、1つ前のチャプターの先頭に移動します。停止中はキーを受け付けません。
・**チャプターリピートモード時**…再生中のチャプターの先頭に移動します。
○**ラジオ時**…1つ前のプリセットチャンネルに移動します。

**►►I （選曲）キー**
○**音楽CDディスクのとき**
・**通常再生モード時**…次の曲の先頭に移動します。停止中は1曲目に移動します。
・**ALL REPEAT再生モード時**…最終曲時は1曲目に移動します。
○**DVDビデオ時**
・**PLAY、PAUSE中**…次のチャプターの先頭に移動します。
・**タイトルリピートモード時**…PLAY、PAUSE中と同様に動作しますが、再生中のタイトル・最終チャプター時は再生中のタイトルの先頭チャプターに移動します。停止中はキーを受け付けません。
・**チャプターリピートモード時**…リピートを解除して次のチャプターを再生します。
○**MP3再生時**…MP3を再生中は、次の曲へ移動します。
○**ラジオ時**…次のプリセットチャンネルに移動します。

# リモコンについて



**STATUSキー**
〇**DVDビデオ時**…テレビ画面にトラックNO.、チャプターNO.、経過時間等を表示します。

**▲ カーソルキー**
〇**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを上に移動させるときに押します。また、アングルを選択するときにも押します。
〇**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。
〇**タイマーセット時**…内容の選択をするときに押します。
〇**時刻合わせ**…内容を合わせるときに押します。
〇**MP3時**…ファイルまたはフォルダーをを選択するときに押します。

**◀ カーソルキー**
〇**DVDビデオ再生中**…インスタントリプレイ(10秒分戻る)できます。メニュー画面表示中はカーソルを左に移動させるときに押します。
〇**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。
〇**STATUS BAR**…選択項目を左に移動するときに押します。
〇**タイマーセット時**…1つ前の項目に移動するときに押します。
〇**時刻合わせ**…1つ前の項目に移動するときに押します。

**SET UPキー**
〇**DVDビデオ時**…システム設定画面を表示させます。もう一度押すと元の画面に戻ります。

**▶ カーソルキー**
〇**DVDビデオ再生中**…インスタントスキップ(10秒分先に進む)できます。メニュー画面表示中はカーソルを右に移動させるときに押します。
〇**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。
〇**STATUS BAR**…選択内容を右に移動するときに押します。
〇**タイマーセット時**…次の項目に移動するときに押します。
〇**時刻合わせ**…次の項目に移動するときに押します。

**CLEARキー**
〇**ラジオ時**…プリセットチューニングで選局中は、そのプリセットチャンネルを消去します。
〇**タイマーセット、時刻合わせ、エリアファインメンメモリー設定作業中**…作業をキャンセルします。

**ENTER/MEMORYキー**
各設定を決定するときに押します。

**▼ カーソルキー**
〇**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを下に移動させるときに押します。また、アングルを選択するときにも押します。
〇**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。
〇**タイマーセット時**…内容の選択をするときに押します。
〇**時刻合わせ**…内容を合わせるときに押します。
〇**MP3時**…ファイルまたはフォルダーを選択するときに押します。

**MENU/RETURNキー**
〇**DVDビデオ再生時**…メニュー画面を呼び出します。長押しするとタイトルメニューを呼び出します。
〇**タイマーセット、時刻合わせ、エリアファインメンメモリー設定作業中**…作業をキャンセルします。



**数字キー**
〇**CD時**…ダイレクト選曲を行うときに押します。
たとえば、
3曲目：③ → ENTER/MEMORY
12曲目：① → ② → ENTER/MEMORY
〇**DVDビデオ時**…チャプター選択、タイトル選択、タイムサーチ、視聴制限の暗証番号設定を行うときに押します。
〇**ラジオ時**…プリセットチャンネルを呼び出すときに押します。

**VOLUME(音量)キー**
音量の上げ下げを行います。

**DISPLAYキー**
表示部の内容を切り換えるときに押します。P.60参照

**DIRECTキー**
音質を向上させるために、音質調整を行う回路をバイパスさせるときに押します。解除するときは、もう一度押します。

**SOUNDキー**
低域・高域、左右の音響のバランスを設定するときに押します。

**SLEEPキー**
スリープタイマーのセットができます。

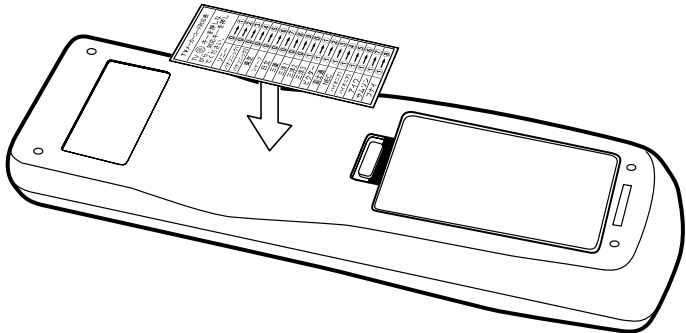
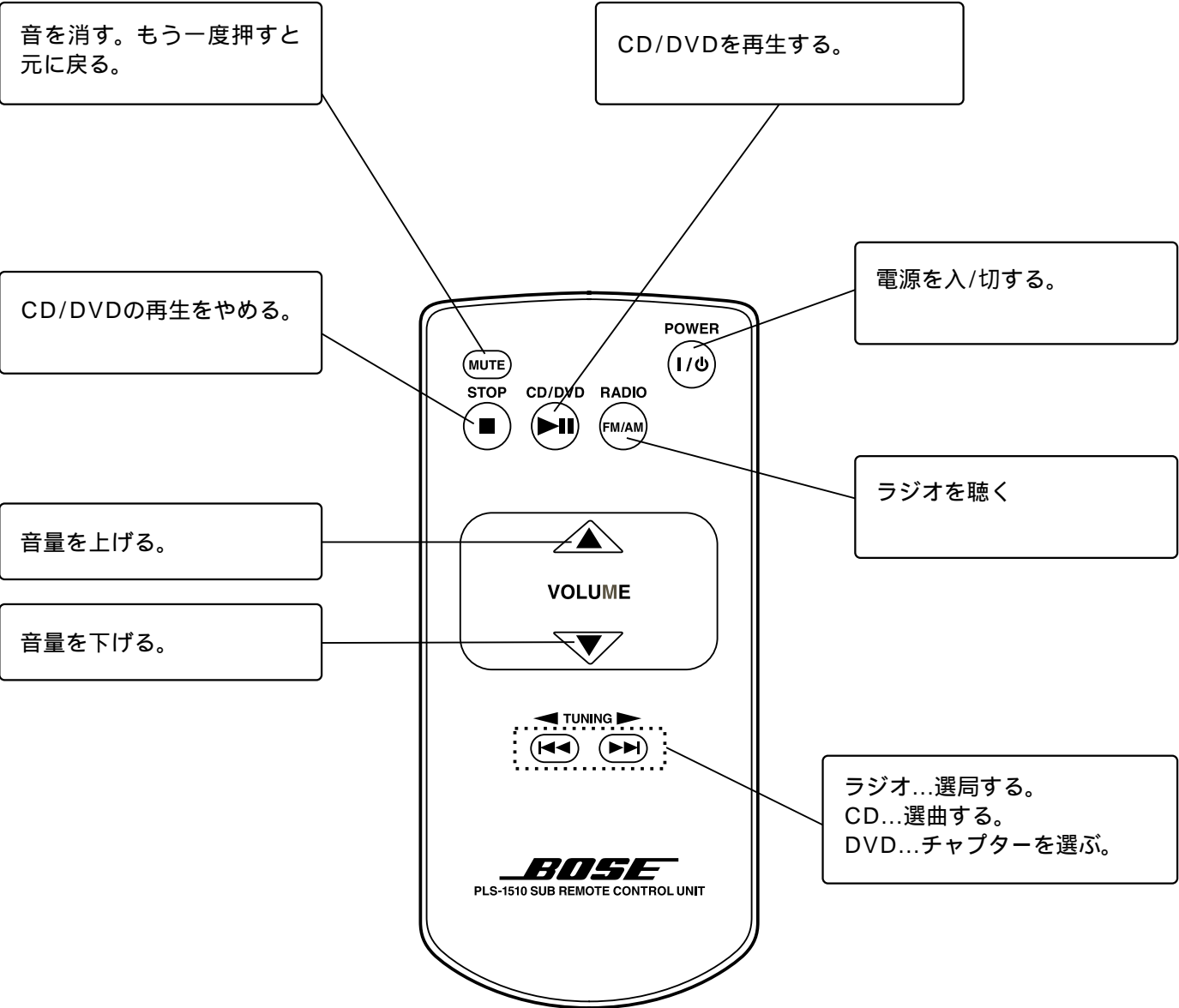
**TIMERキー**
このキーとカーソルキーを使ってタイマーをセットします。また、スタンバイの時にタイマーをセットしてあれば,このキーを押すと、タイマーの内容をチェックできます。長押しすると最後にセットした内容のタイマーを呼び出してセットすることができます。タイマーセット済のときに、このキーを長押しするとタイマーをOFFすることができます。

| メーカー名 | TV ON/OFF ボタンを押しながら、対応ボタンを押してください。 |
|---|---|
| ソニー | 0 ➡ 1 |
| パナソニック1 | 0 ➡ 2 |
| パナソニック2 | 0 ➡ 3 |
| 東芝 | 0 ➡ 4 |
| シャープ | 0 ➡ 5 |
| 日立 | 0 ➡ 6 |
| 三菱 | 0 ➡ 7 |
| 三洋1 | 0 ➡ 8 |
| 三洋2 | 0 ➡ 9 |

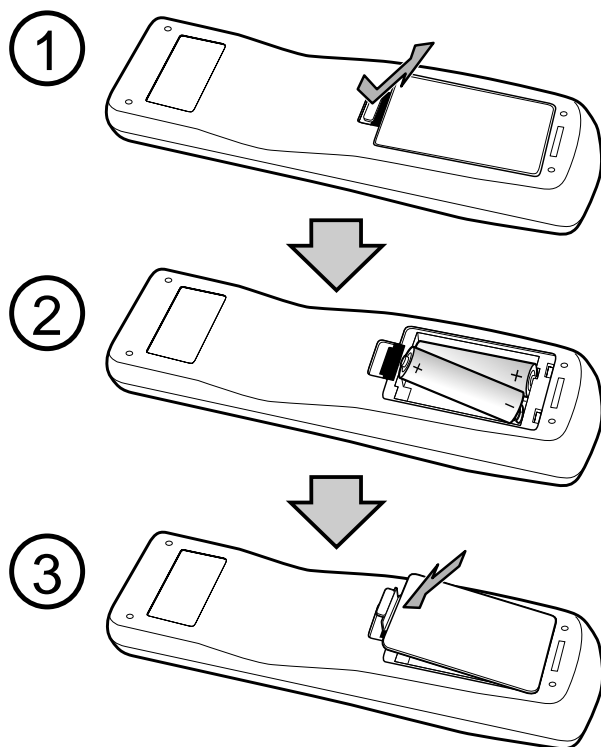
| メーカー名 | TV ON/OFF ボタンを押しながら、対応ボタンを押してください。 |
|---|---|
| 三洋3 | 1 ➡ 0 |
| ビクター | 1 ➡ 1 |
| 富士通 | 1 ➡ 2 |
| NEC | 1 ➡ 3 |
| パイオニア1 | 1 ➡ 4 |
| パイオニア2 | 1 ➡ 5 |
| アイワ | 1 ➡ 6 |
| サムソン | 1 ➡ 7 |
| フナイ | 1 ➡ 8 |

**たとえばSONYのテレビ用にリモコンを切り換えるには**

TV ON/OFF キーを押しながら 0 ➡ 1 キーの順に押します。

## ●リモコンをお使いになる前に

付属のTVメーカーシールはリモコンの裏側に
貼ってお使いになることをおすすめします。

# リモコンの取り扱いについて

## ●電池の入れ方

### リモコンをお使いになる前に

●付属の乾電池は動作チェック用として同梱してあります。新品の乾電池よりは使用期間が短くなりますので、リモコンの効きが悪くなってきた場合は、新しい電池と交換してください。

注意

**電池についての注意**

- 乾電池の ⊖ と ⊕ の向きを電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

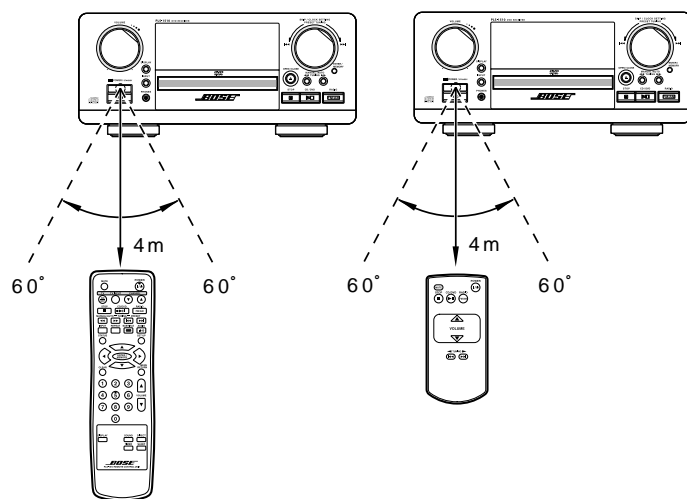
## ●リモコンの動作範囲

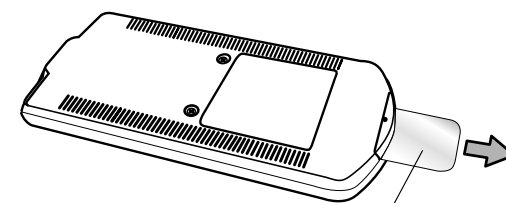
**●電池の交換時期について**

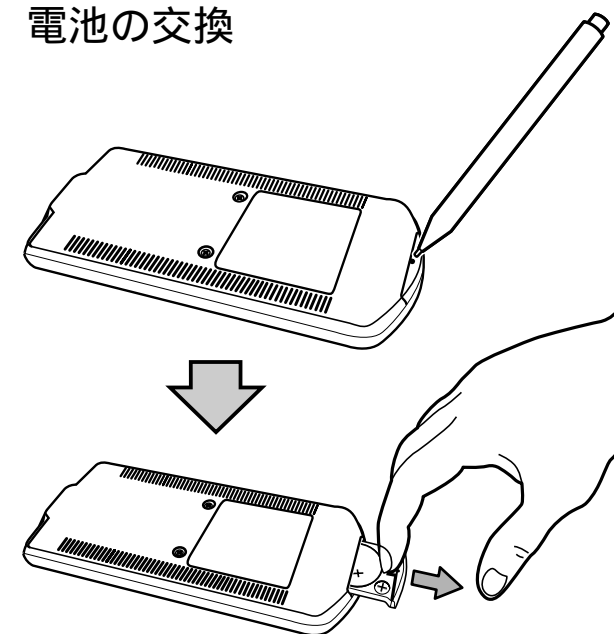
リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まってきて効きが悪くなってきます。このような症状が出てきたらリモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。

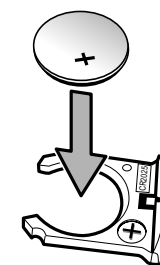
注意

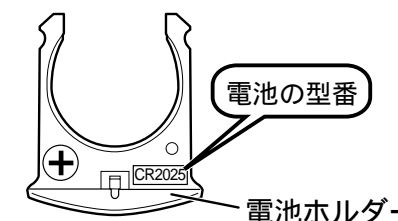
**●電池使用上の注意**

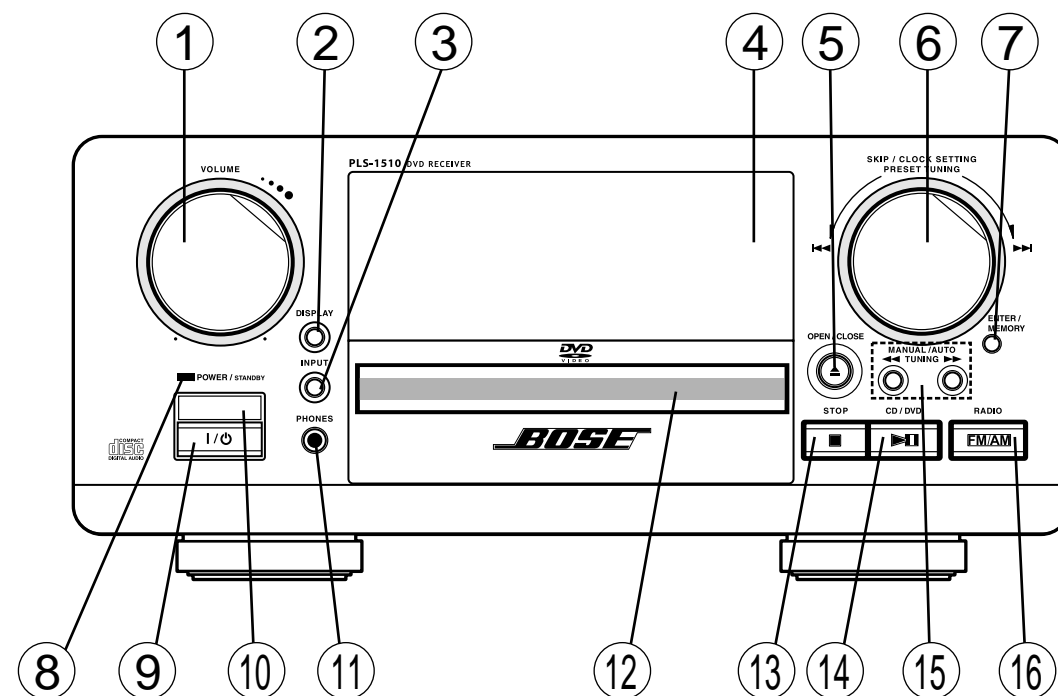
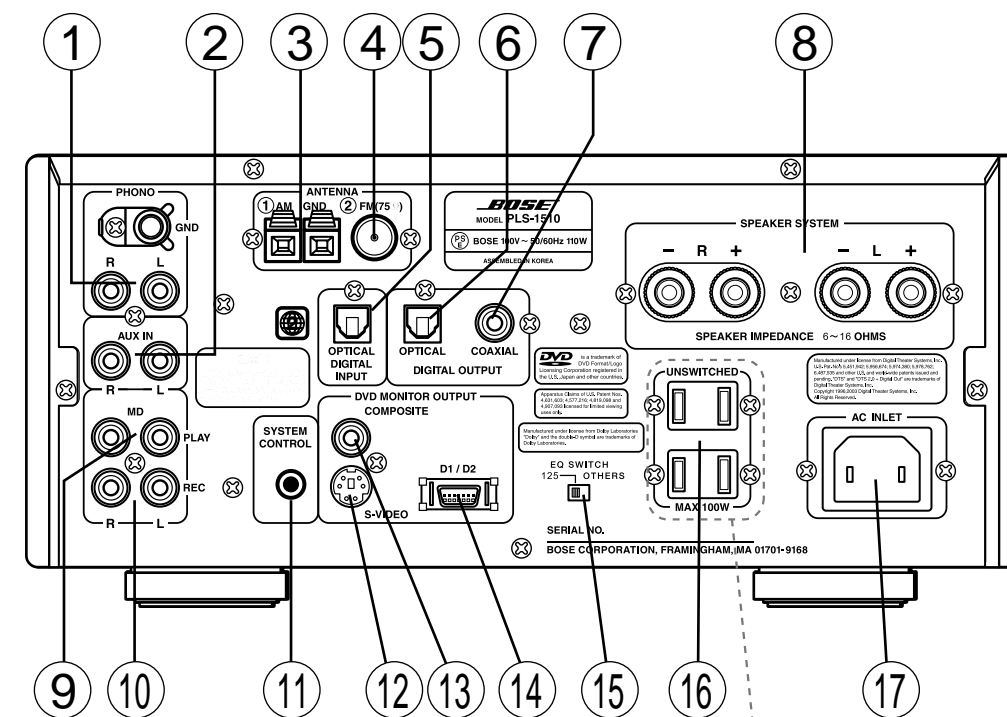
- 本機の受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますので、ご注意ください。
- リモコンと本機の受光部の間に障害物があったり、受光部の角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。

## ●カード型サブリモコンの取り扱いについて

### リモコンをお使いになる前に

透明なフィルムを
引きぬいてからお使いください。

### 電池の交換

注意

リモコン用の電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、科学物質で皮膚を冒される結果となることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。また、分解や充電、焼却を行ったり100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には下に記載された電池のみをご使用ください。異なる製品を使用した場合、火災や爆発の原因となることがあります。

電池を入れます

電池を交換する場合は、電池の型番にご注意ください。電池の型番はリモコンの電池ホルダーに書かれている型番を見てご用意ください。

# 各部の名称とはたらき

## ●前面

## ●背面

**消費電力の大きな機器は接続しないこと**

このコンセントには消費電力の大きな機器※を接続しないでください。
本機が誤動作したり、電源コードの被覆が溶けて火災などの原因となります。
※TV、パソコン、掃除機、調理用機器、発熱する機器など。





**前面**

① **VOLUME（ボリューム）つまみ**
② **DISPLAY（ディスプレイ）キー**
③ **INPUT（インプット）キー**
④ **表示部**
⑤ **⏏OPEN/CLOSE（オープン/クローズ）キー**
⑥ **ジョグダイヤル**
⑦ **ENTER/MEMORY（エンター/メモリー）キー**
⑧ **POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）インジケーター**
⑨ **POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）キー**
⑩ **リモコン受光部**
⑪ **PHONES（ヘッドホン）ジャック**
⑫ **CD/DVD（ディスク）トレー**
⑬ **■ STOP（ストップ）キー**
⑭ **▶❙❙ PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キー**
⑮ **◀◀ / ▶▶ TUNING（チューニング/早送り/早戻し）キー**
⑯ **RADIO（FM/AM）キー**

**背面**

① **PHONO入力端子**
※レコードプレーヤー（MM型）以外は接続できません。
② **外部（AUX）音声入力端子**
③ **AMアンテナ接続端子**
④ **FMアンテナ接続端子**
⑤ **OPTICAL DIGITAL INPUT（光デジタル入力端子）**
⑥ **OPTICAL DIGITAL OUTPUT（光デジタル出力端子）**
⑦ **COAXIAL DIGITAL OUTPUT（同軸デジタル出力端子）**
⑧ **スピーカー出力端子**
⑨ **MD音声入力端子**
⑩ **MD音声出力端子**
⑪ **SYSTEM CONTROL（システムコントロール）**
ボーズ社のMDプレーヤー（MDA-15）とシステムコントロールケーブルで接続します。
⑫ **DVD MONITOR OUTPUT S-ビデオ端子**
⑬ **DVD MONITOR OUTPUT コンポジット端子**
⑭ **DVD MONITOR OUTPUT D1/D2端子**
⑮ **イコライザースイッチ**
⑯ **AC OUTLET UNSWITCHED**
非連動（最大容量100W）の電源コンセントです。
パワースイッチに関係なく電源が供給されています。
⑰ **AC INLET**
商用電源AC100V（50/60Hz）のコンセントに接続します。

## ●表示部の説明

① **DAILY/ONCE（タイマー）インジケーター**
ワンスタイマー、デイリータイマー（P48〜49）を設定すると点灯します。

② **SYNC REC（シンクレック）インジケーター**
システム接続でボーズ社MDA-15とのシンクロ録音のときに点灯します。

③ **REPEAT 1 F ALL（リピート/1曲リピート、全曲リピート）インジケーター**

④ **AUTO SLEEP（オートスリープ）インジケーター**
オートスリープを選ぶと点灯します。スリープ選択時にはSLEEPのみ点灯します。

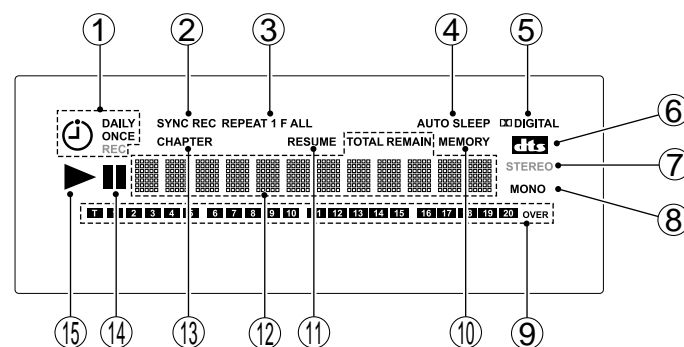
⑤ **DIGITAL（ドルビーデジタル）インジケーター**
DVDビデオの音声ソースがドルビーデジタルのときに点灯します。

⑥ **dts（DTS）インジケーター**
DVDビデオの音声ソースがDTSのときに点灯します。

⑦ **STEREO（ステレオ）インジケーター**
FM放送のステレオ放送を受信すると点灯します。

⑧ **MONO（モノ）インジケーター**
FM放送をマニュアル受信時に点灯します。

⑨ **ミュージックカレンダー（1〜20）インジケーター**
・21曲以上収録されている場合はOVERが点灯します。
・DVDビデオ時はタイトル番号を表示します。

⑩ **MEMORY（メモリー）インジケーター**
プリセットされている放送局を受信すると表示されます。

⑪ **RESUME（リジューム）インジケーター**
RESUMEで停止しているときに点灯します。CDの再生を ■ STOPキーまたはINPUTキーで切り換えて停止させた場合、次回再生をすると最後に再生したところから開始します。

⑫ **キャラクター表示部**
いろいろな情報を表示します。

⑬ **CHAPTER（チャプター番号表示）インジケーター**

⑭ **❚❚（ポーズ）インジケーター**
再生を一時停止しているときに点灯します。

⑮ **▶（プレイ）インジケーター**

## ●表示部の切り換え

**●RADIOを再生中**
※放送局名が登録してある場合のみ。

**●CDを再生、一時停止、リジュームストップ中**

**●スタンバイ時**

※スタンバイ時に時計表示をさせないと省エネ効果があります。

**●MP3を再生、一時停止中**

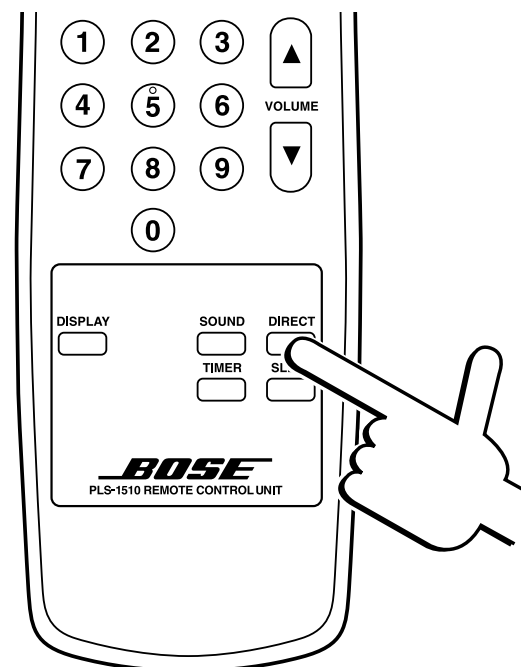
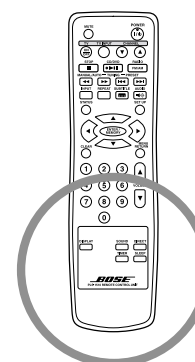
**●DVDを再生、一時停止、リジュームストップ中**

再生中のチャプター番号とタイトル経過時間
↓
全チャプター数との総収録時間
↓
再生中のチャプター番号と再生残り時間
↓
時計表示

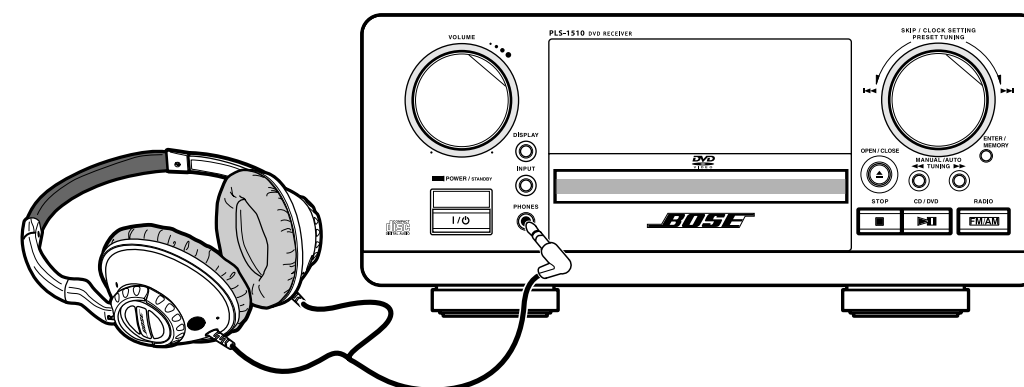
**●他の音源を選択中**

現在選択中の音源
↓
時計表示

## ●ダイレクト接続について

リモコンのDIRECTキーは、音質調整回路をバイパスして、よりピュアな音楽再生をするための機能です。

## ●ヘッドホンを使って楽しむとき

ヘッドホンプラグを前面パネルのPHONES端子に挿入してください。プラグを差し込むと自動的にスピーカーからの音が止まります。

**注意**
**ヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。あまり大きな音で長時間ご使用になりますと耳を痛める場合がありますa。耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。**

## ●高域、低域の音響バランスの調整

部屋の音響効果は、ステレオシステムの全体的な音質に影響を与えることがあります。ルームアコースティックコンペンセーター機能を上手に使って、よりよい音響効果が得られるように、部屋の特性に合わせて調整してください。

**低域部分の調整**

**●調整範囲：−８〜＋４（2dBステップ）**

**高域部分の調整**

**●調整範囲：−８〜＋８（2dBステップ）**

## ●左右の音響バランスの調整

スピーカーの置かれる左右の壁は同じ材質、同じ面積であることが望ましいのですが、実際には左右の壁の状況が異なってしまっている場合があります。そういう状況では、どうしても左右の音響バランスを整えることが重要になります。本機では左右の音量微調整ができます。

**※本機のバランス調整は微調整を行うために設計されていますので、変化量は微少レベルに設定しています。**

**●音声が左右のスピーカーの中央から聴こえるように調整します。**

**左右のバランス調整**

**中央**

L−−−−*−−−−R

**右側の音量が少し小さくなる**

L*−−−−−−−−R

**左側の音量が少し小さくなる**

L−−−−−−−−*R



## ●結露現象について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。プレーヤーも冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ（ピックアップのレンズ部分）に露が生じ（結露）、レーザーによるディスクからの信号読み取りができず、プレーヤーが動作しないことがあります。このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれプレーヤーは正常に動作するようになります。

**ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。**

**ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。**

## ●ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずディスク専用のクリーナーを使用して下の図のように拭いてください。

**※ディスクは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品を使用すると、ディスクの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。**

## ●ディスク保管上の注意

ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

**●直射日光の当たる場所。**
**●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。**
**●車の中などの高温になる場所。**
**●投光照明機などの発熱物の近くの場所。**
**●極端に寒い場所。**
**●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。**
**●屋外や直接水のかかるところ。**

## ●ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください。
七色に輝く面が表面です。レーベル面が裏面になります。従来のレコードプレーヤーと異なり、プレーヤーは、レーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読み取ります。したがってディスクは従来のレコードのように、使っているうちに性能が劣化するようなことはありません。

・レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

・再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

・ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

・ディスクは、2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください。故障の原因になります。

・市販のディスク用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となることがあります。

・ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

**注意**

**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがや故障の原因となることがあります。**

# 用語の説明

**アングル** ……… アングルマークを表示しないモードを選択すると、アングル機能は働かない。
アングルとは、DVDの機能の一つとして同時に最大9台のカメラで撮影した映像の中からお好みのカメラアングルを自由に選択できる。ただし、この機能はあらかじめDVDにそのデーターが記録されていないと使えない。

**アスペクト（縦横）比** ……… テレビ画面の横（幅）と縦（高さ）の比率。標準のテレビ画面は4:3でワイドテレビの画面が16:9である。

**インターレース** ……… テレビ画面の走査線525本の表示を2回に分けて行う方式。はじめに奇数番目の走査線を描画し、次に偶数番目の走査線を描画。インターレースは動画を表示するとき、ちらつきを抑えられるため、ほとんどのテレビで採用されている。

**コンポーネント映像信号** ……… 映像信号を輝度信号(Y)と色信号“赤(R-Y)”と“青(B-Y)”に分離して伝送する方式です。Sビデオ信号よりさらに質の高い映像が得られます。

**コンポジット映像信号** ……… 輝度、色および同期情報を含んでいる、一本のビデオ信号。

**スクリーンセーバー** ……… テレビ画面に長時間同じ画像を表示し続けるとその画面が表示されていたところが焼き付いて色むらを起こすことがある。それを防ぐために画面を暗くしたり、一箇所に同じ画像を表示し続けないように簡単な動画などを表示する機能。

**タイトル** ……… ビデオクリップの集合。チャプターが集まったものがタイトルで、タイトルが集まったものが一枚のディスク。ただし、一つのチャプターで構成されるタイトルもあれば、一つのタイトルで構成されるディスクもある。

**チャプター** ……… DVDでの正式な用語ではpart of title(パートオブタイトル：PTT)と呼ぶ。チャプターが入っているディスクでは、見たいシーンのサーチができる。

**トラック** ……… オーディオ・テープやディスクに記録された選択できる個々のデータの単位。CDでは 曲（1トラック目=1曲目）ともいう。

**レターボックス** ……… 標準(4：3)の画面に16：9の映画などの画像を画面の左右いっぱいまで映して上下に余白を入れる表示モード。このモードでは縦横比が正しく、全ての映像が表示されるが、上下に黒い帯が入り、表示面積が小さくなってしまう。

**パン・スキャン** ……… 標準(4：3)の画面に16：9の映画などの画像を元のままの縦横比で映し、映像の左右をカットして画面全体に表示する。

**プログレッシブ** ……… インターレースが画面525本の走査線表示を2回のに分けて表示するのに対して、画面の走査線表示を1回で行う方式。静止画や文字の表示をする場合はインターレース方式ではにじみやちらつきが生じるためプログレッシブ方式が優れている。
本機の場合はD端子を接続しないとシステム設定（P24）でのプログレッシブスキャンは選択できません。



**D端子** ……… コンポーネント映像信号を1本のケーブルで接続できる端子。

**DVD** ……… 12cmおよび8cmの光ディスクを使用した映画、音楽、コンピューターなど様々な用途に応用される大容量光ディスクの規格。デジタル・ビデオ・ディスクまたはデジタル・バーサタイル・ディスクの頭文字。

**DVDビデオ** ……… 読み出し専用DVDにビデオ（動画や音声）を収録する規格のこと。画像にMPEG-1/2の圧縮方式を用いて、1枚のディスクに2時間程度の映画を1本収録できる。音声は、Dolby デジタル、リニアPCM、MPEGオーディオ、DTS等がある。ユーザーが好みのカメラアングルを選択再生できるマルチアングル機能や、最大8ストリームの音声、最大32カ国語の字幕スーパーを選択再生できるマルチランゲージ機能など、多くの機能を持っている。

**MP3** ……… MPEG Audio Layer 3を略したもの。MPEGオーディオの1方式。MPEGオーディオは音声情報を圧縮するための規格で、音声ファイルを圧縮するやり方の違いによって、レイヤー1(Layer 1)からレイヤー3までの3通りが規定されている。
・Layer1：圧縮率1/4(ステレオ)
・Layer2：圧縮率1/6～1/8(ステレオ)
・Layer3：圧縮率1/10～1/12(ステレオ)
したがって、一番圧縮率の高いMP3方式では、1枚のCDに通常の約10倍の曲を収録できる。

**MPEG** ……… ディスクに音声や映像を記録するためのデータ圧縮方式の一つ。

**PCM** ……… アナログ信号を圧縮せずに、デジタルでコード化された信号。これはCDおよびレーザーディスクに使用されたデジタルオーディオ信号の形式。

**RESUME STOP（リジュームストップ）** ……… CD/DVD/MP3再生時にストップキーを1回押すと、ストップした部分を記憶して再生を停止します。リジュームストップ状態のときには、ソース（音源）の切り換え、電源のスタンバイ、また、別のディスクをセットしない限りディスクの取り出をしても、次に再生を開始するときはストップした近辺からスタートします。ただし、MP3の場合はファイルの頭からの再生になります。リジュームストップを解除するには、もう一度ストップキーを押します。

**YPbPr** ……… コンポーネントビデオ信号のこと。

**D、DOLBY DIGITAL** ……… ドルビー研究所によって開発された音声圧縮技術のドルビーデジタルの登録商標ロゴマーク。ドルビーデジタル方式の音声圧縮はDVDビデオでは最も一般的な音声圧縮方法。

**DIGITAL dts SURROUND** ……… DVDディスクで採用されているマルチチャンネルサラウンド音声の圧縮方式の一つ。

**※ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。**
**・本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国許可及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。**
**・本製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。**
**※Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。**
**「DTS」および「DTSデジタルサウンド」はDTS社の登録商標です。**
**※著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。**

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| **電源が入らない** | 電源プラグがコンセントに差し込まれていないか、はずれている。 | PLS-1510の電源プラグをコンセントに差し込みます。 |
| **音が出ない** | スピーカーケーブルが正しく接続されていない。<br>ミュートが働いている。<br>ヘッドホンが接続されている。<br>プロテクター回路が働いている。 | P10～11を参考にして、接続を確認してください。<br>リモコンのMUTE（ミュート）キーを押してください。（P50参照）<br>ヘッドホンが接続されていると、スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンを使用しないときは、抜いておいてください。<br>スピーカー端子のショートなどで本機のプロテクター回路が働くと、音が出なくなります。この場合は、スレテオレシーバーの電源プラグを抜き、原因を取り除いてから再度差し込んでください。 |
| **急に電源が切れた** | スリープタイマーが働いた。 | 電源を入れてください。 |
| **CD/DVDの演奏ができない** | ディスクが裏返しになっている。<br>ディスクにキズやソリがある。<br>ピックアップレンズが結露している。 | レーベル面を上にしてディスクをセットしてください。<br>ディスクを取り変えて演奏してみてください。<br>ディスクを取り出し、電源を入れたままで1時間ぐらい待ってから再び演奏してください。。 |
| **放送が受信できない** | アンテナの接続や設置が正しく行われてない。 | アンテナを正しく接続、設置してください。（P12～15参照） |
| **画像が出ない** | 映像ケーブルが外れているか、差し込まれていない。<br>本機背面のD端子にケーブルが接続されている。<br>本機背面のD端子にケーブルが接続されている。なおかつ、プログレッシブ出力の設定にしてある。 | 映像ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。<br>D端子からケーブルを外します。<br>※ D端子にケーブルが接続されている時は、S-Video出力端子から信号が出力されません。テレビとの接続はD端子を使うか、黄色のピンケーブル（同軸/COMPSITE）で接続してください。テレビの入力もS-Video以外の入力端子を選んでください。<br>システム設定（P24参照）で“映像設定”の“プログレッシブスキャン”で、プログレッシブを選択した場合、背面のCOMSITE出力端子とS-Video出力端子からは映像信号が出力されません。テレビの入力をD端子に切り換えてください。 |
| **リモコンによる操作ができない** | 電池が消耗している。<br>途中に障害物がある。 | 新しい電池に交換してください。<br>障害物を取り除いてください。 |
| **時計表示が点滅している**<br>**放送のプリセットが消えた**<br>**タイマーのセットが消えた** | 次の理由で電源が切れた。<br>・電源プラグを抜いた<br>・停電が起きた<br>・配電盤のブレーカーが働いた | 電源が切れた場合は、時計を合わせる（P42）、エリアファインメモリー（P20）、タイマーの活用（P46）をやり直してください。 |

## ●お問い合わせ

故障および修理のお問い合わせは、ボーズ・サービスセンター株式会社　☎ **042-357-5250**
住所：〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社、インフォメーションセンター　☎ **03-5489-0955**
までご連絡ください。





## ●仕様

**●総合**

| | |
|---|---|
| 消費電力 | 110W（電気用品安全法） |
| 待機消費電力 | 1.5W以下（時刻表示消灯時） |
| 外形寸法 | 299（W）×131（H）×386（D）mm |
| 質量 | 8.9kg |

**●DVD/CDプレーヤー部**

| | |
|---|---|
| 再生周波数帯域 | 20Hz～20kHz |
| ダイナミックレンジ | 100dB以上（A-WTD） |
| SN比 | 105dB以上（A-WTD） |
| 全高調波歪率 | 0.003%以下 |
| チャンネルセパレーション | 90dB以上（A-WTD） |
| ワウ・フラッター | 測定限界値以下 |

**●アンプ部**

| | |
|---|---|
| 定格出力 | 45W＋45W（1kHz　6Ω） |
| 再生周波数帯域 | 10Hz～100kHz（±3dB） |
| SN比 | 95dB以上（A-WTD） |
| 入力感度/入力インピーダンス | MD、AUX：250mV/47kΩ |
| 入力感度/入力インピーダンス | PHONO：2.5mV/47kΩ |
| ヘッドフォン出力 | 300mW±2dB（32Ω） |
| スピーカー端子 | デュアルバナナ対応 |

**●チューナー部**

| | |
|---|---|
| 〈FM〉 | |
| 周波数範囲 | 76.0～90.0MHz（100kHzステップ） |
| 実用感度 | 8dBf |
| SN比 | 72dB以上 |
| 全高調波歪率 | 0.4%（mono） |
| 周波数特性 | 20Hz～15kHz（-3dB） |
| セパレーション | 45dB以上（1kHz） |
| 〈AM〉 | |
| 周波数範囲 | 522～1,629kHz（9kHzステップ） |
| 実用感度 | 45dBμV/m |
| SN比 | 45dB以上 |
| 全高調波歪率 | 1.5%以下 |

## ●著作権について

●放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、
音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
●従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、
および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
●使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、
その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）のもよりの支部におたずねください。
**社団法人日本音楽著作権協会**　本部　TEL.03(3481)2121　URL　http://www.jasrac.or.jp/

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
（私的録音補償金についてのお問い合わせ先：社団法人　私的録音補償金管理協会電話：03-5353-0336）

## ●保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

http://www.bose.co.jp/

ボーズ株式会社
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル TEL 03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1279
05・1-F-C・1(I-M)